



ISDN



ISDN&ブロードバンド無線ルータ
RTW65i

設定マニュアル

本機を使い始めるときにお読みください

本機お使いになる前に本書をよくお読みになり、正しく設置や設定を行ってください。
本書中の警告や注意を必ず守り、正しく安全にお使いください。

付属マニュアルのご案内

本機の機能を十分に活用していただくために、下記のマニュアルを用意致しました。目的にあわせてマニュアルをお選びください。

設定マニュアル(本書)



本機を使い始めるときに読むマニュアルです。

設置や設定のしかただけでなく、CATVやADSLなどのブロードバンドルータ、ISDNルータとしての基本的な使いかたについて説明しています。

活用マニュアル



本機の機能を活用するために読むマニュアルです。

電話、FAX、ターミナルアダプタ(TA)としての代表的な使いかたについて、その解説と設定方法を説明しています。また、困ったときの対処方法についてもまとめて説明しています。

コマンドリファレンス(PDF形式)



コマンドを使って高度な設定を行いたいときに読むマニュアルです。本機のコンソールコマンドについて解説しています。

④ マークのマニュアルは付属のCD-ROMにPDF形式で収録しており、お読みになるにはAcrobat Readerが必要です。先にCD-ROMのAcrobat Readerをインストールしてください。詳しくは別冊の「活用マニュアル」の「Acrobat Readerについて」(202ページ)をご覧ください。

- 本書の記載内容を一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の記載内容は将来予告なく変更されることがあります。
- 本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損失については、当社では責任を負いかねます。保証は本製品の物損の範囲に限ります。予めご了承ください。

重要なお知らせ

プロバイダ契約について

本機をルータとしてお使いになる前(または新たにプロバイダ契約を行う前)に、必ずルータ経由による複数パソコンの同時接続が、プロバイダによって禁止されていないかどうかご確認ください。**プロバイダによっては、禁止もしくは別の契約が必要な場合があります。契約に違反して本機を使用すると、予想外の料金を請求される場合があります。**

禁止されている場合は、プロバイダと別途必要な契約を行うか、同時接続を禁止していない他のプロバイダと契約してください。

通信料金について

本機をダイヤルアップルータとしてお使いになる場合には、自動発信の機能をよくご理解の上で使用ください。本機をパソコンやLANに接続した場合、本機はパソコンのソフトウェア(電子メールソフトウェアやWebブラウザなど)が送信するデータや、LAN上を流れるデータの宛先を監視します。LAN外の宛先があると、あらかじめ設定された内容に従って自動的に回線への発信を行います。

そのため、**設定間違いや回線切断忘れがあった場合、ソフトウェアや機器が定期送信パケットを発信していた場合には、予想外の電話料金やプロバイダの接続料金がかかる場合があります。**

とどき通信記録や累積料金を調べて、意図しない発信がないか、また累積料金が適当であるかどうかご確認ください。また、本機の設定やリビジョンアップなどの最新情報を得るために、定期的にNetVolanteシリーズのホームページ(<http://NetVolante.jp/>)をご覧ください。強くおすすめいたします。

以下の場合に、予想外の通信料金がかかっている場合があります

- 本機を使い始めたとき
- 本機のプロバイダ接続設定を変更したとき
- MP接続を設定したとき
- パソコンのダイヤルアップネットワーク設定を変更したとき(TA機能利用時)
- RealPlayerソフトウェアをインストールしたとき
- パソコンに新しいソフトウェアをインストールしたとき
- ネットワークに新しいパソコンやネットワーク機器、周辺機器などを接続したとき
- 本機のファームウェアをリビジョンアップしたとき
- その他、いつもと違う操作を行ったり、通信の反応に違いを感じたときなど

ご注意

- プロバイダ契約を解除／変更した場合は、必ず本機の接続設定と、パソコンのダイヤルアップネットワーク設定(TA接続利用のみ)の両方を削除または再設定してください。削除しないままお使いになると、回線業者やプロバイダから意図しない料金を請求される場合があります。
- MP接続に対応していないプロバイダに対して、MP接続の設定や発信は絶対に行わないでください。意図しない料金を請求される場合があります。
- プロバイダ側の状態(アクセスポイントの変更、メンテナンス、障害など)によって、予想外の通信料金がかかる場合があります。プロバイダからの告知情報には常にご注意ください。

セキュリティ対策と本機のファイアウォール機能について

インターネットに接続すると、世界中のホームページを閲覧したり、電子メールで自由に情報を交換したりすることができ、とても便利です。しかし同時に、お使いのパソコンに対する不正アクセスの危険に、世界中からさらされることとなります。

特にインターネットに常時接続したり、サーバなどを公開したりする場合には、その危険性を理解して、必要なセキュリティ対策を行う必要があります。本機にはそのためのファイアウォール機能を装備していますが、不正アクセスの手段や抜け道(セキュリティホール)は、日夜新たに発見されており、それを防ぐ完璧な手段はありません。**インターネット接続には、常に危険がともなうことをご理解いただくとともに、常に新しい情報を入手し、自己責任でセキュリティ対策を行うことを強くおすすめいたします。**

無線LANの電波に関する注意

- 本製品に使用している無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、特定無線設備の認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は日本国内でのみ使用できます。
- 心臓ペースメーカーを使用している人の近くで、本製品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカーに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- 医療機器の近くで本製品を使用しないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- 電子レンジの近くで本製品を使用しないでください。電子レンジによって本製品の無線通信への電磁妨害が発生します。
- 本製品の無線装置は、電波法に基づく認証を受けていますので、以下の事項を行なうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解／改造すること
 - 本製品の背面および無線カードに貼ってある証明ラベルをはがすこと

- この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

本製品の無線チャンネルを工場出荷時以外に設定して使用する場合は、以下の事項に注意してください。但し、本製品の無線チャンネルが工場出荷状態の場合は、移動体識別用の無線局と電波干渉をすることはありません。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉を回避してください。
 - その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社ネットボランタールコールセンター(115ページ)へお問い合わせください。
- 本製品に内蔵されている以外の無線LANカードは使用しないでください。

使用周波数帯域	2.4 GHz
変調方式	DS-SS方式
想定干渉距離	40 m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

目次

付属マニュアルのご案内	2
重要なお知らせ	3
本書の表記について	8
安全にお使いいただくために	9
⚠ 警告	9
⚠ 注意	10
使用上のご注意	11

第1章 はじめに

ネットボランチRTW65iでできること	12
インターネットへの接続方法を選ぶ	14
必要なときだけ電話をかけて接続する(ISDN端末型ダイヤルアップ)	15
ISDN回線で常時接続する(フレッツ・ISDN接続)	16
CATV(ケーブルテレビ)で接続する	17
ADSLで接続する	18
フレッツ・ADSLで接続する	19
専用線で接続する	20
回線契約についてのご注意	21
別売り品を用意する	24
LANカード/HUBを用意する	24
無線LANカードを用意する	25

第2章 ルータを準備する

回線を接続する	26
ISDN回線を接続する	26
CATV/ADSL回線を接続する	30
バックアップ電池を取り付ける	32
電源を接続する	34
電話機やFAXを接続する	36
接続する	36
正しく接続できているか確認する	37
TELポートの設定を変更する	39
パソコンを接続する	40
無線LANに接続する	43

第3章 パソコンを準備する

Webブラウザのバージョンを確認する	45
付属ソフトウェアをインストールする	46
Windows 95/98/Me/2000/XPの場合	47
MacOSの場合	49
パソコンのネットワーク設定を変更する	50
手動でネットワーク設定を変更する	56
Windows 95/98/Meの場合	56
Windows 2000の場合	58
WindowsXPの場合	61
MacOSの場合	64
無線LANの設定を変更する	66

第4章 接続方法ごとに設定を変更する

インターネット接続設定をする前に	71
端末型ダイヤルアップ接続用に設定する	72
フレッツ・ISDN接続用に設定する	79
CATV/ADSL接続用に設定する	87
フレッツ・ADSL接続用に設定する	93

第5章 インターネットに接続する

インターネット接続を開始する	100
インターネット接続を終了する	102
RTAssistを活用する	103
RTAssistを起動する／終了する	103
手動で接続する／切断する	105
接続状態／料金情報を確認する	106
本機の設定や通信記録を保存する	107
本機の動作状態を確認する	108
ランプで確認する	108
「かんたん設定ページ」で確認する	109
ブザーを鳴らす条件を設定する	112
困ったときは	115

本書の表記について

マークの意味

本書では、本機を安全にお使いいただくため、守っていただきたい事項に次のマークを表示していますので、必ずお読みください。



人体に危険を及ぼしたり、装置に大きな損害を与える可能性があることを示しています。必ず守ってください。



機能停止を招いたり、各種データを消してしまう可能性があることを示しています。十分注意してください。

略称について

本書では、YAMAHA RTW65iのことを本機、Microsoft® Windows® をWindows、Microsoft® Windows 95® をWindows95、Microsoft® Windows 98® をWindows98、Microsoft® Windows 98 Second Edition® をWindows98SE、Microsoft® Windows NT® をWindowsNT、Microsoft® Windows 2000® をWindows2000、Microsoft® Windows Millennium Edition® をWindowsMe、Microsoft® Windows XP® をWindowsXP、INS ネット64のことをISDN、10BASE-T(100BASE-TX)ケーブルのことをLAN ケーブルと記載しています。

設定例について

本書に記載されているIPアドレスやドメイン名、URLなどの設定例は、説明のためのものです。実際に設定するときは、必ずプロバイダから指定されたものをお使いください。

商標について

- イーサネットは富士ゼロックス社の登録商標です。
- Apple、Macintosh、MacOSは米国Apple社の登録商標および商標です。
- Microsoft、Windowsは米国Microsoft社の米国およびその他の国における登録商標です。
- Adobe、Acrobatは米国AdobeSystems社の登録商標です。
- INSネット64は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- Stac LZSIは米国Hi/fn社の登録商標です。

安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくために、下記のご注意をよくお読みになり、必ず守ってお使いください。

警告

- 本機は家庭および一般小規模オフィス向けの製品であり、人の生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される分野に適応するには設計されていません。
誤って本機を使用した結果、発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本機から発煙や異臭がするとき、内部に水分や薬品類が入ったとき、およびACアダプタや電源コードが発熱しているときは、直ちに電源スイッチを切ってACアダプタをコンセントから抜き、バックアップ電池を取りはずしてください。そのまま使用を続けると、火災や感電のおそれがあります。
- 濡れた手でACアダプタや電源コードを触らないでください。感電や故障のおそれがあります。
- 電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。火災や感電、故障、ショート、断線の原因となります。
- ACアダプタは必ず本機に付属のもの(P10V1.2A)をお使いください。他のACアダプタを使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
- 付属のACアダプタは日本国内用AC100V(50/60Hz)の電源専用です。他の電源で使用すると、火災や感電、故障の原因となります。
- 安全のため、ACアダプタは容易に外すことのできるコンセントに接続してください。
- 本機を落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。内部の部品が破損し、感電や火災、故障の原因となります。
- 本機を分解したり、改造したりしないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 本機の通風口を塞いだ状態で使用しないでください。火災や感電、故障の原因となります。
- 電源を入れたまま、USBケーブル以外のケーブル類を接続しないでください。感電や故障、本機および接続機器の破損の恐れがあります。
- 乾電池は逆向きに入れたり、充電したり、ショート(短絡)させたりしないでください。破裂や液漏れの恐れがあります。
- 電池を破棄する場合には、端子にテープなどを貼って絶縁してください。他の金属と接触すると発熱や破裂などの原因となります。
- 消耗した乾電池は早めに交換してください。
- 新しい乾電池と、1度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- メーカーや種類の異なる乾電池(アルカリとマンガンなど)を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。

- 乾電池が液漏れをした場合は、ただちに乾電池を破棄してください。漏れた液にふれたり、衣類などに付着しないようにしてください。新しい乾電池を入れる前に電池ケース内をきれいにふいてください。
- 長時間使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池から漏れた液が目に入った場合は、こすらずにすぐに大量のきれいな水で洗った後、医師の治療を受けてください。失明等の障害のおそれがあります。
- 電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに大量のきれいな水で洗ってください。化学やけどなどの障害の恐れがあります。
- 電池から漏れた液が口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- アナログポートやISDNポート、USBポートに指や異物を入れないでください。感電や故障、ショートの原因となります。

 注意

- 直射日光や暖房器等の風が当たる場所、温度や湿度が高い場所には、置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- 極端に低温の場所や温度差が大きい場所、結露が発生しやすい場所で使用しないでください。故障や動作不良の原因となります。結露が発生した場合は、ACアダプタをコンセントから抜き、乾燥させるか、充分室温に慣らしてから使用してください。
- ほこりが多い場所や油煙が飛ぶ場所、腐蝕性ガスがかかる場所、磁界が強い場所に置かないでください。故障や動作不良の原因となります。
- 本機を他の機器と重ねて置かないでください。熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。
- 近くに雷が発生したときは、ACアダプタやケーブル類を取り外し、使用をお控えください。落雷によって火災や故障の原因となることがあります。
- 本機のアースコードは必ず接続してください。感電防止やノイズ防止の効果があります。アース接続は必ず、ACアダプタをコンセントにつなぐ前に行ってください。又、アース接続をはずす場合は、必ずACアダプタをコンセントから切り離してから行ってください。
- 停電後や長時間電源を切っていた場合には、電池を交換することをお勧めします。また、停電等が発生しなかった場合でも、1年間を目安に電池を交換することをお勧めします。電池から液が漏れて火災やけが、周囲を汚損する原因となることがあります。
- 本機を修理や移動等の理由により輸送する場合には、必ず本機の設定を保存し、電池をすべて外した状態にしてください。輸送中に電池から液が漏れて、火災やけが、周囲を汚損する原因となることがあります。電池の液漏れによる修理は、保証期間中であっても実費を請求させていただきます。

使用上のご注意

- ダイヤルアップルータはプロバイダ接続のために自動的に電話をかける機能を持った装置であり、本機にも自動的に電話をかける機能があります。それに伴った通話料金やプロバイダ接続料金がかかります。あらかじめ製品の機能や動作をよく理解した上でご使用ください。本機の使用方法や設定を誤って使用した結果発生したあらゆる損失について、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- メール確認や転送を設定すると定期的にインターネットへ自動接続を行うので、その度に通話料金やプロバイダ接続料金がかかります。あらかじめご理解いただいた上で、この機能を設定およびご使用ください。
- 自動接続が設定されている場合に、「かんたん設定ページ」の[ネットボランチホームページ]をクリックするとインターネットへ自動接続します。それに伴った通話料金やプロバイダ接続料金がかかりますので、あらかじめご理解いただいた上で、この機能をご使用ください。
- 本機のアナログポートにはモデムを接続して使用することができますが、モデムの最高通信速度で接続できるとは限りません。モデムの通信速度は、その時の通信回線の環境や相手先の機器との相性によって決まりますので、モデムの最高性能よりも遅い速度でしか接続できない場合があります。
- 無線LANを使用する場合は、金属製の壁や机、電子レンジ、他の無線LAN装置の近くへの設置を避けるようにしてください。また、遮蔽物があると、通信可能距離が短くなる場合があります。
- 本機の工場出荷状態では、無線LANによる本機へのアクセスが可能になっています。無線を使った第三者による回線の不正使用を防ぐため、WEP(暗号化機能)をONにして使用することを強くおすすめします。また、無線LANを使用しない場合は、不正アクセスを防ぐために「RTW65iかんたん設定ページへ行く前に」画面で、[無線LANを使用する]のチェックを外すか、または「無線設定」画面で無線モードを[オフ]にしてください。
- 本機のご使用にあたり、周囲の環境によっては電話、ラジオ、テレビなどに雑音が入る場合があります。この場合は本機の設置場所、向きを変えてみてください。
- 本機を譲渡する際は、マニュアル類も同時に譲渡してください。
- 本機を廃棄する場合には不燃物ゴミとして廃棄してください。または、お住まいの自治体の指示に従ってください。

ネットボランチRTW65iでできること

本機は、ダイヤルアップルータ、ブロードバンドルータ、アナログポート、DSU、TA、無線LANアクセスポイントの機能をすべて内蔵した、多機能ルータです。ISDNのダイヤルアップ接続からCATV/ADSL接続、専用線接続、そして無線LANを利用したインターネット接続まで、さまざまなインターネット接続方法に対応できます。より高速な回線で接続したいときにも、本機の設定変更のみで対応できます。

ISDN&ブロードバンド対応

従来のISDNダイヤルアップルータ機能に加えて、CATVやADSLなどのブロードバンド回線用モデムに接続できるWANポートを装備しています。また、インターネットはCATV回線で接続し、電話はISDN回線をお使いの場合でも、本機1台で対応できます。

ご注意

ISDN回線以外では、本機の電話機能は利用できません。

無線LAN&有線LAN(10BASE-T/100BASE-TX)両対応

IEEE802.11b準拠の11Mbit/s無線LANアクセスポイントを内蔵しているため、配線なしでインターネットやLANに接続できます。また、複数のRTW65iを使うことで、離れたLANどうしをつなげるブリッジ機能や、移動しても無線アクセスポイントを自動切り替えできるローミング機能にも対応しています。

ファイアウォール機能

静的/動的の2種類のフィルタによるパケットフィルタリング機能で、外部からの不正アクセスに対してセキュリティを強化できます。不正アクセスや攻撃を検出した場合にお知らせする、不正アクセス検知機能も搭載しています。

かんたん設定

付属のユーティリティソフトウェア「RTW65iパソコンセットアップ」でパソコンのネットワーク設定を自動的に行えます。本機は設定のためのホームページ「RTW65iかんたん設定ページ」を内蔵しているため、本機の基本的な設定はパソコンのWebブラウザで変更できます。

メール着信確認/メール着信転送機能

登録したメールアドレスへのメール着信を通知するメール着信確認機能を搭載しているため、パソコンの電源を入れなくても、メール着信の有無を確認できます。メール着信を確認するだけでなく、着信したメールを携帯電話やPHSの電子メールなどの他のメールアドレスに転送できる、メール着信転送機能も搭載しています。

TA(ターミナルアダプタ)機能搭載

Windows98SE/Me/2000/XP、Mac OS9のパソコンから、本機をUSB接続のISDN TAや、ブロードバンドTA(PPPoE方式のみ対応)として使うことができます。手動で接続/切断を制御できるので、常時接続回線契約をしていても、セキュリティ面で心配なときに便利です。

また、本機はWindows98/Me/2000の仮想プライベートネットワーク機能を使ったLAN-TA機能を搭載しているため、LAN上のWindowsパソコンから本機を仮想TAとして使用することもできます。

LANポートのないパソコンでも、USBポート経由でアクセス可能

USBポートに接続したパソコンをLANに接続できる擬似LAN機能を搭載しているため、LANボードを装着できないパソコンでも、USB経由でLANへアクセスできます。

充実のNetVolanteホームページ

NetVolanteシリーズのホームページ(<http://NetVolante.jp/>)では、NetVolanteシリーズの最新情報や機能の設定方法、FAQ、リビジョンアッププログラムなど、NetVolanteを活用するための情報を満載しています。本機の「かんたん設定ページ」画面左上の「ネットボランチホームページ」をクリックするだけでアクセスできます。

また、ヤマハルータRTシリーズホームページ(<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>)では、RTシリーズルータを使った高度な活用例や詳しい解説がご覧いただけます。

その他多機能ルータとして便利な機能を装備

- 停電時には、乾電池によるバックアップ電源でTEL1ポートを使用でき、ライフラインとしての電話回線を確保できます(ISDN回線使用時のみ)。
- TELポートは3ポート装備しているので、今まで使っていた電話やFAX、モデムなどを接続できます。サブアドレスやフレックスホン、ナンバー・ディスプレイ、i・ナンバー、ダイヤルインなどのISDNサービスにも対応しています。
- 64/32kbit/s PIAFS対応ダイヤルアップサーバ機能を搭載しているため、PHS電話機で外出先からLANにアクセスできます(PIAFS 32k、64kbit/sに対応。64kbit/sはギャランティーモードとベストエフォートモードの両方に対応)。
- LAN上のパソコンからFAXモデムなしでFAXを送受信できる、Windows用FAXソフトウェア「RVS-COM 2000」に対応しています(利用するには別途「RVS-COM 2000」が必要です)。
- ご購入後に新しい機能が追加されても、本機内蔵ソフトウェアのリビジョンアップ(バージョンアップ)を行うことで、最新の機能が利用できます。リビジョンアップを行うには、NetVolanteシリーズのホームページ(<http://NetVolante.jp/>)からリビジョンアップ・プログラムをパソコンにダウンロードして、パソコンでこのプログラムを実行するだけです。

インターネットへの接続方法を選ぶ

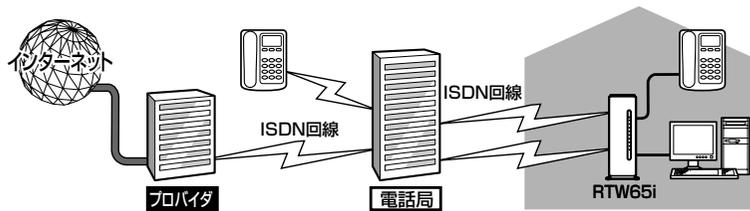
本機はさまざまな回線接続方法に対応しています。接続方法によって必要な回線契約やプロバイダ(インターネット接続業者)との接続契約が異なりますので、ご希望の接続方法の説明をご覧ください、必要な契約をしてください。

接続形態	回線契約	インターネット接続契約
ISDN回線で電話のみ使用する	ISDN回線	
ISDN回線で必要なときだけインターネットへ接続する(15ページ)	ISDN回線	端末型ダイヤルアップ接続 →プロバイダと契約
フレッツ・ISDNでインターネットへ常時接続する(16ページ)	ISDN回線	フレッツ・ISDN →NTTと契約 フレッツ・ISDN接続 →プロバイダと契約
CATVでインターネットへ常時接続する(17ページ)		CATV接続 →CATV業者と契約
CATVのインターネット常時接続とISDNの電話も使用する(17ページ)	ISDN回線	CATV接続 →CATV業者と契約
ADSLでインターネットへ常時接続する(18ページ)	一般回線	ADSL接続 →プロバイダと契約
フレッツ・ADSLでインターネットへ常時接続する(19ページ)	一般回線	フレッツ・ADSL →NTTと契約 フレッツ・ADSL接続 →プロバイダと契約
OCNエコノミーなどの専用線でインターネットへ常時接続する(20ページ)	専用線	専用線接続契約 →プロバイダと契約

ご注意

- プロバイダ契約を解除/変更した場合は、必ず本機の接続設定と、パソコンのダイヤルアップネットワーク設定(TA接続利用のみ)の両方を削除または再設定してください。削除しないままお使いになると、回線業者やプロバイダから意図しない料金を請求される場合があります。
- 本機をルータとしてお使いになる前(または新たにプロバイダ契約を行う前)に、必ずルータ経由による複数パソコンの同時接続が、プロバイダによって禁止されていないかどうかご確認ください。プロバイダによっては、禁止もしくは別の契約が必要な場合があります。契約に違反して本機を使用すると、予想外の料金を請求される場合があります。禁止されている場合は、プロバイダと別途必要な契約を行うか、同時接続を禁止していない他のプロバイダと契約してください。

必要なときだけ電話をかけて接続する（ISDN端末型ダイヤルアップ）



すでにモデムを使ってインターネットへ接続していた場合は、以下の条件を満たしていれば、同じ契約のまま本機を使用できます。まだ契約していない場合は、プロバイダにお申し込みください。

必要な条件

- プロバイダにISDN対応のアクセスポイント電話番号があること。
- プロバイダがダイヤルアップルータによる複数台パソコン接続を認めていること。

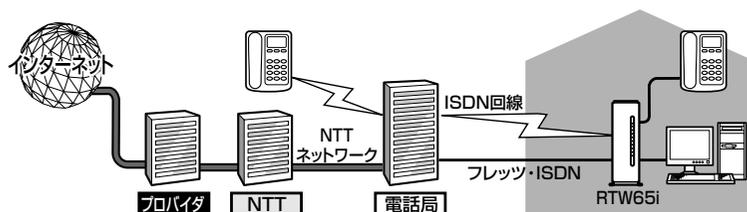
必要な契約

- ISDN回線契約(21ページ)
- 「端末型ダイヤルアップ接続」契約(プロバイダと契約)

設定を行うためには、プロバイダから通知される以下の情報が必要です
契約時に入手した、接続情報の書類をご確認ください。

- ネームサーバアドレス(DNSサーバアドレス)
- ISDN対応アクセスポイントの電話番号
- 回線速度(64kbit/s、128kbit/s MP接続)
- ユーザID(アカウント名)
- パスワード

ISDN回線で常時接続する（フレッツ・ISDN接続）



フレッツ・ISDN接続は、ISDN回線の1チャネルを使ってインターネットへ常時接続する方法です。お住まいの地域の電話局がフレッツ・ISDNに対応していれば、利用できます。NTTと「フレッツ・ISDN」契約を行った後、フレッツ・ISDN対応プロバイダに「フレッツ・ISDN接続」の契約をお申し込みください。

必要な条件

- ISDN回線を接続している電話局がフレッツ・ISDNに対応していること。
- プロバイダがルータによる複数台パソコン接続を認めていること。

必要な契約

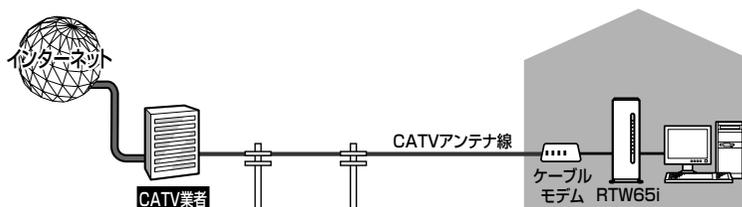
- ISDN回線契約(21ページ)
- 「フレッツ・ISDN」契約(NTTと契約)
- 「フレッツ・ISDN接続」契約(フレッツ・ISDN接続対応のプロバイダと契約)

設定を行うためには、次の情報が必要です

契約時に入手した接続情報の書類をご確認ください。

- NTTから通知される情報：フレッツ・ISDN用アクセスポイントの電話番号
- プロバイダから通知される情報
 - ネームサーバアドレス(DNSサーバアドレス)
 - ユーザID(アカウント名)
 - パスワード

CATV（ケーブルテレビ）で接続する



CATV接続は、電話回線を使わずにCATVのアンテナ線でインターネットへ常時接続する方法です。お住まいの地域にインターネット接続サービスを提供しているCATV業者があり、以下の条件を満たしていれば利用できます。お申し込みについては、お住まいの地域のCATV業者にお問い合わせください。

ご注意

- 本機に接続するケーブルモデムを別途ご用意いただく必要があります。詳しくはCATV業者にお問い合わせください。
- CATVでインターネットに接続する場合、本機をCATVのアンテナ線に直接接続することはできません。必ずケーブルモデムに接続してください。

必要な条件

- お住まいの地域にCATV業者があり、インターネット接続サービスを提供していること。
- お住まいの建物のアンテナ設備が、CATVインターネット接続に対応できること。
- CATV業者がルータによる複数台パソコン接続を認めていること。

必要な契約

「ルータを使用した複数台接続可能なCATVインターネット接続」契約(CATV業者と契約)

設定を行うためには、CATV業者から通知される以下の情報が必要です

契約時に入手した接続情報の書類を確認してください。

- ネームサーバアドレス(DNSサーバアドレス)
- IPアドレス
- ネットマスク

ご注意

CATV業者から通知されるIPアドレスが下記のプライベートIPアドレスの範囲に含まれる時は、ファイアウォールでのセキュリティフィルタの設定変更が必要な場合があります(92ページ)。

- 10.0.0.0～10.255.255.255
- 172.16.0.0～172.31.255.255
- 192.168.0.0～192.168.255.255

ADSLで接続する



ADSL接続は、一般回線の銅線を使い、ADSL業者のネットワークを経由して高速にインターネットへ常時接続する方法です。お住まいの地域の電話局がADSL接続に対応していて、以下の条件を満たしていれば利用できます。

ご注意

- 本機に接続するスプリッタやADSLモデムを別途ご用意いただく必要があります。詳しくはADSL接続対応プロバイダにお問い合わせください。
- ADSLの特性上、お住まいの地域によってはADSL接続が利用できない場合があります。詳しくはADSL接続対応プロバイダにお問い合わせください。
- ADSLでインターネットに接続する場合、本機をADSLの一般回線に直接接続することはできません。必ずADSLモデムに接続してください。

必要な条件

- お住まいの地域の電話局がADSL接続に対応していること。
- 電話局からお宅までの配線が、ADSL接続に対応していること(ADSL接続の可否は、プロバイダにご確認ください)。
- LAN接続のADSLモデムが使えること(USB接続のADSLモデムは不可)。
- プロバイダがルータによる複数台パソコン接続を認めていること。

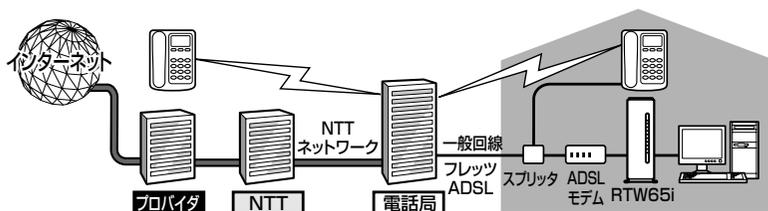
必要な契約

- 一般回線契約(23ページ)
- 「ADSL接続(LAN接続タイプ)」契約(ADSL接続対応のプロバイダと契約)

設定を行うためには、プロバイダから通知される以下の情報が必要です
契約時に入手した接続情報の書類を確認してください。

- ネームサーバアドレス(DNSサーバアドレス)
- ユーザID(PPPoE方式ADSL接続の場合のみ)
- パスワード(PPPoE方式ADSL接続の場合のみ)

フレッツ・ADSLで接続する



フレッツ・ADSL接続は、一般回線の銅線を使い、NTTのネットワークを経由して高速にインターネットへ常時接続する方法です。お住まいの地域の電話局がADSL接続に対応していて、以下の条件を満たしていれば利用できます。

ご注意

- 本機に接続するスプリッタやADSLモデムを別途ご用意いただく必要があります。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- ADSLの特性上、お住まいの地域によってはADSL接続が利用できない場合があります。詳しくはNTTにお問い合わせください。
- ADSLでインターネットに接続する場合、本機をADSLの一般回線に直接接続することはできません。必ずADSLモデムに接続してください。

必要な条件

- お住まいの地域の電話局がADSL接続に対応していること。
- 電話局からお宅までの配線が、ADSL接続に対応していること（ADSL接続の可否は、NTTにご確認ください）。
- LAN接続のADSLモデムが使えること（USB接続のADSLモデムは不可）。
- プロバイダがルータによる複数台パソコン接続を認めていること。

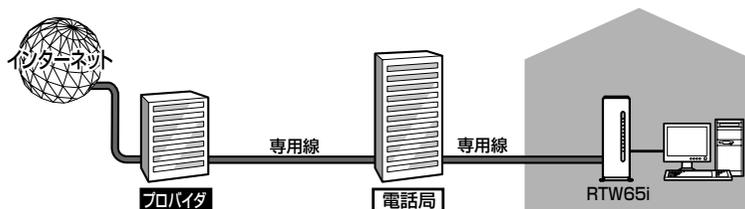
必要な契約

- 一般回線契約（23ページ）
- 「フレッツ・ADSL」契約（NTTと契約）
- 「フレッツ・ADSL接続（LAN接続タイプ）」契約（フレッツ・ADSL接続対応のプロバイダと契約）

設定を行うためには、プロバイダから通知される以下の情報が必要です
契約時に入手した接続情報の書類を確認してください。

- ネームサーバアドレス（DNSサーバアドレス）
- ユーザID
- パスワード

専用線で接続する



専用線接続は、インターネット接続専用の回線を引いて常時接続する方法です。OCNエコノミーやデジタルアクセス64などいろいろな専用線サービスがあり、本機はデジタル回線を使った専用線接続でお使いいただけます。常時接続できるだけでなく、グローバルIPアドレスを取得できるので、インターネットに常時公開するサーバを設置したいときに便利です。お申し込みについては、専用線接続対応のプロバイダにお問い合わせください。

必要な契約

「専用線接続」契約(専用線接続対応のプロバイダと契約)

設定を行うためには、プロバイダから通知される以下の情報が必要です
契約時に入手した接続情報の書類を確認してください。

- ネームサーバアドレス(DNSアドレス)
- IPアドレス番号(例:133.176.200.112)
- ネットマスク(例:255.255.255.240)
- 回線速度(64kbit/s、128kbit/s)

回線契約についてのご注意

本機の接続形態に応じて、ISDN回線、一般回線、専用線の契約が必要です。

ISDNを使ってインターネットに接続する場合(ISDN回線契約)

以下の場合にはISDN回線が必要です。

- ISDN回線で電話機を使用したい場合
- 端末型ダイヤルアップでインターネットへ接続する場合
- フレッツ・ISDNで接続する場合

新たにISDN回線を引く場合は、NTTへお申し込みください。

申込票の各項目は、下記を参考に記入してください。

お取付工事(お客さま工事、またはNTT工事)

- 通信機器の名称:RTW65i
- メーカー:YAMAHA
- 認証番号:CD01-0836JP L01-0272
- DSU:DSU内蔵型TA

コンサルティング項目

- インタフェース形態およびレイヤ1起動種別:P-MP常時またはP-MP呼毎
- 発信者番号通知サービス:通常通知(通話ごと非通知)*
- ユーザ間情報通知サービス:着信許可
- 通信中着信通知サービス:許可
- グローバル着信:有
- i-ナンバーサービス:複数の電話番号を取得したい場合(3つまで)*
- ダイヤルインサービス:4つ以上の電話番号を取得したい場合*

*「通常非通知(回線ごと非通知)」を選択した場合は、番号通知を利用した一部のサービスが受けられない場合があります。

ご注意

- コンサルティング項目の無料項目については、なるべく「許可」で申し込むことをお勧めします。実際に使うときの動作は、本機の機能で使わないように設定することができます。
- 電池駆動時の電池節約のために、インタフェース形態およびレイヤ1起動種別は「P-MP呼毎」で申し込むことをおすすめします。

ISDNの付加サービスについて

ISDN回線では、次のようなサービスが利用できます。サービスによって申し込みが必要なものや有料のものがあります。この他にもさまざまなサービスがありますので、詳しくはNTTへお問い合わせください。

発信者番号通知	発信者の番号を相手に通知できます。
サブアドレス通知	ISDN回線やPHSからの通話の場合に、接続したい機器を指定して着信させることができます。
ナンバー・ディスプレイ(有料)	
	着信時に発信者の番号が通知されます。
i・ナンバー(有料)	
	電話番号を最大2つまで増設でき、アナログ回線からの通話でも最大3つの電話番号を使い分けて着信させることができます。
ダイヤルイン(有料)	
	電話番号を最大99個まで増設できます。アナログ回線からの通話でも電話番号を使い分けて着信させることができます。
料金情報通知	
	通話にかかった料金が通知されるサービスです。回線から通知される料金は、小数点以下が切り上げられたり、各種割引サービスが適用されないことなどにより、実際に請求される料金と異なる場合があります。あくまで目安と考えてください。また、NTT以外の通信業者では通知されません。
ユーザ間情報通知	
	通信開始時と終了時にメッセージを送受信できます。
通信中着信通知サービス	
	通話中に着信を知らせるサービスです。
【フレックスホン】	
INSキャッチホン(有料)	
	通話中に着信があったとき、通話中の相手を保留にして着信に応答できるキャッチホンサービスです。
三者通話(有料)	
	通話中に第三者を呼び出し、三者間通話ができます。
通信中転送(有料)	
	通話中の通信を第三者へ転送できます。
着信転送(有料)	
	着信した通信を応答する前に第三者へ転送できます。

ご注意

- 本機では、フレックスホンとほぼ同等の機能を本機だけで実現できます。フレックスホン同様に4つのサービスの先頭に「擬似」を付けて、擬似キャッチホン、擬似通信中転送、擬似三者通話、擬似着信転送と呼んで区別しています。詳しくは、別冊の「活用マニュアル」の「第3章 電話を使う」(32～52ページ)をご覧ください。
- NTTのフレックスホンは、回線の状態にかかわらず利用できます。
- 擬似フレックスホンでは、ISDN回線の2チャンネル同時に通信できる特徴を利用して、擬似的に同等の機能を実現しています。そのため、擬似フレックスホン使用時は2チャンネル共に通話中となり、それに伴った課金が行われます。インターネット接続などで、すでに1チャンネルを接続している状態では、擬似フレックスホン機能は使用できません。

ADSL接続やフレッツ・ADSL接続で接続する場合(一般回線契約)

一般回線(アナログ回線)が必要です。一般回線をお使いの場合は、そのまま利用できます。すでにISDN回線をお使いの場合は、一般回線に戻すか、または一般回線を別途増設する必要があります。

また回線環境によっては、ADSL接続が利用できない場合もあります。利用の可否については、ADSL接続対応プロバイダにご相談の上、回線環境をご確認ください。

ご注意

一般回線の場合は、絶対に本機のUポートやTELポートへ回線を接続しないでください。一般回線では、本機のTELポートや電話機能を使用することはできません。

専用線で接続する場合

専用線を利用する場合は、いずれかのプロバイダに専用線接続サービスをお申し込みください。OCNエコノミーやデジタルアクセス64/128などの申し込みも同時に手配できます。詳しくは、各プロバイダへご相談ください。

申込票の各項目には、下記を参考に記入してください。

- 通信機器の名称:RTW65i
- メーカー:YAMAHA
- 認証番号:CD01-0836JP L01-0272

ご注意

専用線では、一般の電話やFAXの発着信はできません。

別売り品を用意する

LANカード／HUBを用意する

本機をLAN接続で使う場合は、パソコンにLANポート(10BASE-Tまたは100BASE-TXポート)が必要です。お使いのパソコンにLANポートがない場合は、本機の設置を始める前に、10BASE-T(100BASE-TX)対応のLANボードまたはLANカード(PCカード)を取り付けて、LANポートを増設してください。本機を設置する前に、あらかじめLANボードやLANカードの取扱説明書をご覧になり、正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、あらかじめLANボードやLANカードの問題を解決してから、本機を設置してください。

複数のパソコンを本機にLANケーブルで接続したいときは

市販の10BASE-T(100BASE-TX)対応のHUBが必要になります。

デスクトップ型やタワー型パソコンの場合

デスクトップ型やタワー型パソコンの場合は、拡張スロットにLANボードを取り付けます。拡張スロットには、PCIやISAなどの種類があるので、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧の上、対応したLANボードを取り付けてください。

購入時のチェックポイント

- 対応OS(Windows95/98/Me/2000/XP、MacOSなど)
- スロットの種類(PCI、ISA、Cバス、Nubusなど)
- コネクタの種類(10BASE-Tまたは10BASE-T/100BASE-TXのもの)

ノート型パソコンの場合

ノート型パソコンの場合は、PCカードスロットにLANカードを取り付けます。PCカードスロットの規格や添付ソフトに種類があるので、お使いのパソコンに対応したPCカード型LANカードを取り付けてください。

購入時のチェックポイント

- 対応OS(Windows95/98/Me/2000/XP、MacOSなど)
- PCカードスロットの種類(CardBus、PCMCIA Type I/Type II/Type III)
- コネクタの種類(10BASE-Tまたは10BASE-T/100BASE-TXのもの)

無線LANカードを用意する

本機はIEEE802.11b準拠の11Mbit/s無線LANアクセスポイントを内蔵しています。

対応した11Mbit/s無線LANカード(またはボード／アダプタ)をパソコンに取り付けると、LANケーブルを接続することなく、ワイヤレスでダイヤルアップルータやLANを利用できるようになります。

無線LANカード(またはボード／アダプタ)は、下記の製品を推奨しています。その他の製品の動作確認情報については、NetVolanteホームページ(<http://NetVolante.jp/>)をご覧ください。

デスクトップ型やタワー型パソコンの場合

デスクトップ型やタワー型パソコンの場合は、拡張スロットに無線LANボードを取り付けるか、USBタイプの無線LANアダプタをUSB端子に接続します。拡張スロットには、PCIやISAなどの種類があるので、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧くださいの上、対応した無線LANボードを取り付けてください。

ノート型パソコンの場合

ノート型パソコンの場合は、PCカードスロットに無線LANカードを取り付けます。PCスロットの規格や添付ソフトに種類があるので、お使いのパソコンに対応した無線LANカードを取り付けてください。

推奨無線LANカード(またはボード／アダプタ)

無線LANカード(またはボード／アダプタ)をお求めの際は、以下の製品かどうか確認してください。

- Wi-Fi準拠
- IEEE802.11b準拠
- 対応製品の最新情報について詳しくは、ネットボランチホームページ(<http://NetVolante.jp/>)をご覧ください。

回線を接続する

接続形態に合わせて以下のページをご覧ください、回線を接続してください。

- ISDN回線を接続する:26ページ
- CATV/ADSL回線を接続する:30ページ
- 専用線を接続する:活用マニュアル(別冊)「専用線で接続する」(140ページ)

ISDN回線を接続する

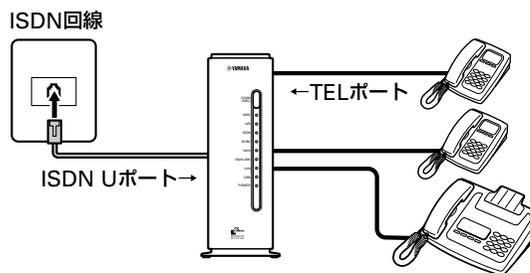
ISDN回線で端末型ダイヤルアップ接続やフレッツ・ISDN接続、TA接続を行う場合は、以下の方法で接続します。ISDN回線に電話機やFAXを接続するときも、同様に接続してください。

ご注意

本機のDSUを使用するかどうかによって、接続が異なります。ISDN回線の申込票をご確認の上、該当する方法で接続してください。

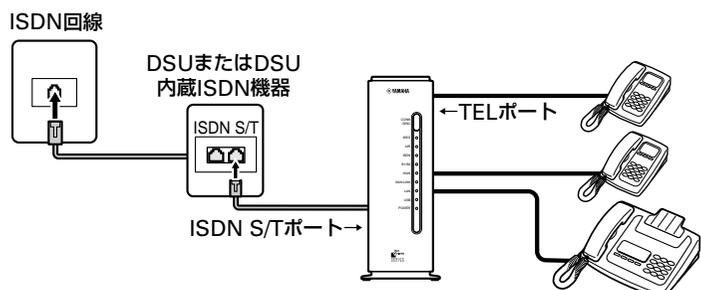
本機のDSUを使う場合(27ページ)

- 申込票の「DSU」項目で、「DSU内蔵TA」を選択したとき
- 工事後のISDN回線が、通常のもジュラーjackと同じ形(6極端子)をしているとき



他のISDN機器のDSUを使う場合(28ページ)

- 申込票の「DSU」項目で、「NTT工事」を選択したとき
- 工事後のISDN回線が、通常のもジュラーjackより幅の広い形(8極端子)をしているとき
- 他のISDN機器やDSUと接続するとき

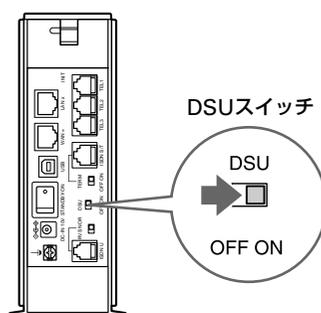


本機のDSUを使ってISDN回線に接続する

必要なもの

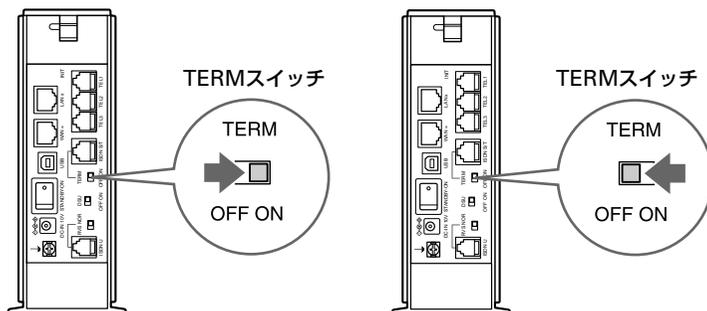
- **モジュラーケーブル:**一般に市販の電話用ケーブルが使用できます(2極用、4極用、6極用のいずれでも可、ただしビジネスホン専用の特殊な結線のもの は除く)。接続に必要な距離に合わせてご用意ください。本機には1本(3m) 付属しています。

1 DSUスイッチを「ON」に合わせる。



2 TERM(ターミネータ)スイッチを以下のように設定する。

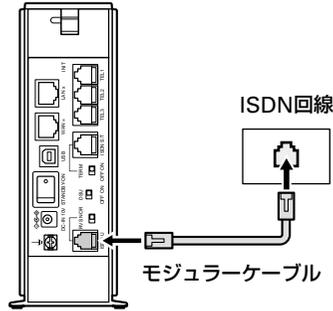
- 本機のISDN S/Tポートに何も接続しない場合:「ON」に合わせる。
- 本機のISDN S/Tポートに他のISDN機器を接続する場合:「OFF」に合わせる。



ご注意

本機のS/Tポートに他のISDN機器を接続した場合は、一番末端に接続したISDN機器のターミネータを「入」(有効)にしてください。

3 回線のモジュージャックと本機のISDN Uポートを、モジュラーケーブル(灰色)で接続する。



ご注意

ISDN回線の場合は、本機のS/Tポートに他のISDN機器を接続して使うこともできます。ただし、DSUを切り離せない形式のDSU内蔵機器がある場合は、以下の手順でその機器のDSUを使って接続する必要があります。

他のISDN機器のDSUを使ってISDN回線に接続する

複数のISDN機器を接続する場合は、本機が一番末端になるように接続します。

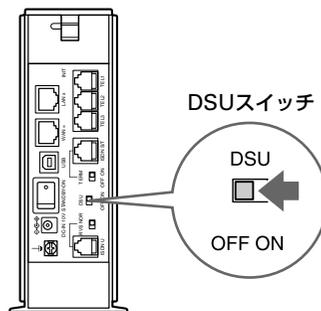
必要なもの

- **ISDNケーブル**:市販のISDNケーブルをご用意ください。ただし、DSUや各ISDN機器間の総延長が150m以内になるようにしてください。

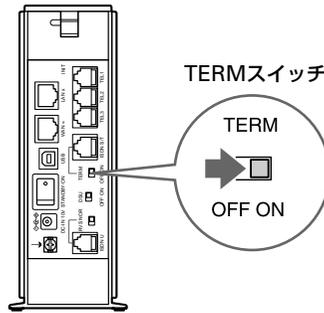
ご注意

ISDNケーブルは、LANケーブルのコネクタ(RJ-45)と同じ形状をしています。間違えないように注意してください。

1 DSUスイッチを「OFF」に合わせる。



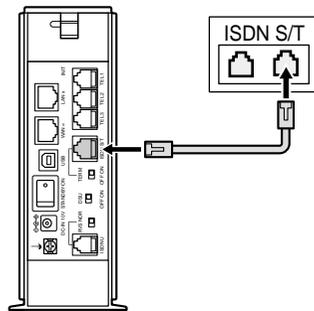
2 TERM(ターミネータ)スイッチを「ON」に合わせる。



💡 ヒント

他のISDN機器のターミネータを有効にする場合は、本機のターミネータスイッチを「OFF」に合わせてください。

3 DSU(またはISDN機器のS/Tポート)と本機のISDN S/Tポートを、ISDNケーブルで接続する。



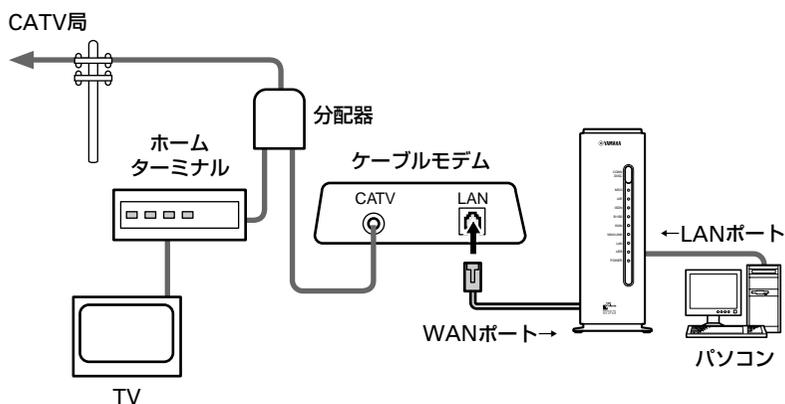
CATV/ADSL回線を接続する

CATVやADSL、フレッツ・ADSLで接続する場合は、本機のWANポートに以下の方法でケーブルモデムまたはADSLモデムを接続します。ケーブルモデムやADSLモデムの設置は、ご自分で設置する場合と、業者が行う場合とがあります。各業者の指示に従って設置してください。

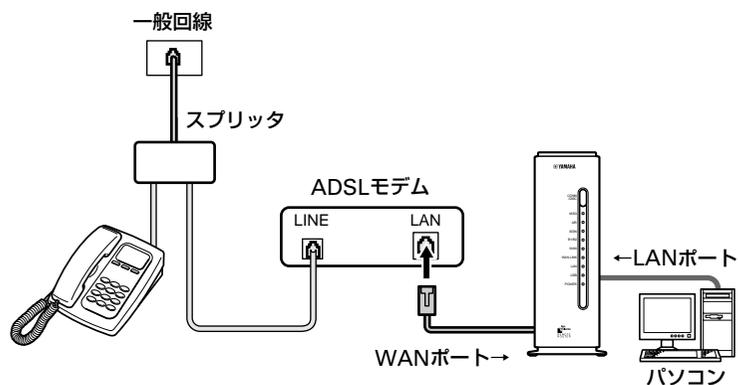
ご注意

CATVまたはADSLでインターネットに接続する場合、本機をCATVのアンテナ線や、ADSL用の一般回線に直接接続することはできません。必ず、ケーブルモデム（CATV回線）またはADSLモデム（ADSL回線）に接続してください。

CATV接続の場合



ADSL接続／フレッツ・ADSL接続の場合



接続する

必要なもの

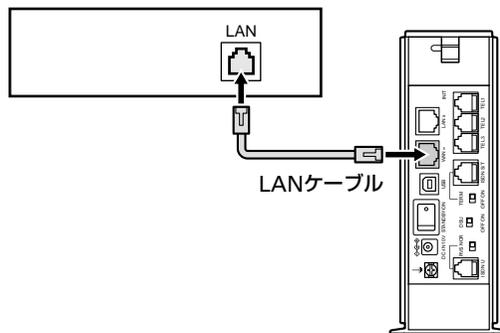
- **LANケーブル**:本機のWANポートとケーブルモデム／ADSLモデムを接続します。ケーブルモデムやADSLモデムの種類に合わせて、ストレートタイプまたはクロスタイプのLANケーブルをご用意ください(ケーブルモデムやADSLモデムに付属している場合もあります)。

ご注意

ケーブルモデム／ADSLモデムとパソコンをストレートケーブルで接続するように指定されている場合は、ケーブルモデム／ADSLモデムと本機のWANポートもストレートケーブルで接続します。逆に、ケーブルモデム／ADSLモデムとパソコンをクロスケーブルで接続するように指示されている場合は、クロスケーブルで本機と接続してください。

ケーブルモデムまたはADSLモデムのLANポートと、本機のWANポートをLANケーブルで接続する。

ケーブルモデムまたはADSLモデム



ご注意

ISDN回線を別途接続しない場合は、TELポート間の内線通話以外でTELポートにアナログ機器(電話機、FAX、モデムなど)を接続して使うことはできません。

バックアップ電池を取り付ける

ISDN回線に接続している場合には、本機にバックアップ用のアルカリ乾電池を入れると、停電してもTEL1ポートに接続したアナログ電話機で約1時間通話できるようになります。

ご注意

電池駆動時には、ルータやTA機能、TEL2、TEL3ポートは使用できません。

ヒント

- ・ 停電以外の時は、乾電池を入れなくても本機を使用できます。
- ・ 本機をCATVやADSL、専用線に接続する場合や、ISDN回線に接続せずに使用する場合(内線通話を除く)はTELポートは使えませんので、乾電池は不要です。

必要なもの

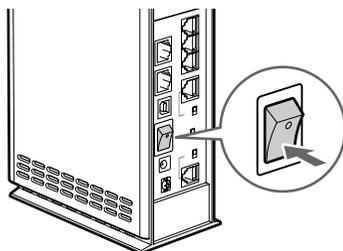
- ・ **乾電池:** 同一銘柄で保証期間内の、新品単3形アルカリ乾電池を4本ご用意ください。

警告

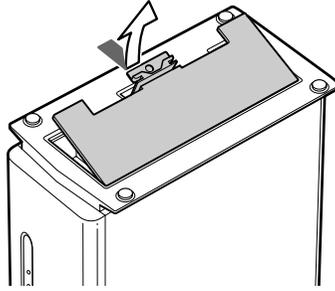
電池の破裂や液もれ、発熱による火災や怪我、周辺の汚損の原因になるので、以下の点にご注意ください。

- ・ 消耗した乾電池は早めに交換してください。
- ・ 新しい乾電池と、1度使用した乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・ メーカーや種類の異なる乾電池(アルカリとマンガンなど)を混ぜて使用しないでください。同じ形状でも性能の異なるものがあります。
- ・ 乾電池が液漏れをした場合は、ただちに乾電池を破棄してください。漏れた液にふれたり、衣類などに付着しないようにしてください。新しい乾電池を入れる前に電池ケース内をきれいにふいてください。
- ・ 長時間使用しない場合は、電池を取り外してください。
- ・ 電池から漏れた液が目に入った場合は、こすらずにすぐに大量のきれいな水で洗った後、医師の治療を受けてください。失明等の障害のおそれがあります。
- ・ 電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに大量のきれいな水で洗ってください。化学やけどなどの障害の恐れがあります。
- ・ 電池から漏れた液が口に入った場合は、すぐにうがいをし、医師に相談してください。

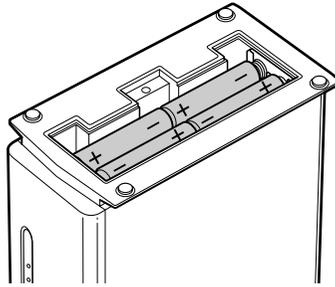
1 STANDBY-ON(電源)スイッチが「STANDBY」(スタンバイ)になっていることを確かめる。



2 底面の電池ボックスカバーを下図の方向に押し開く。



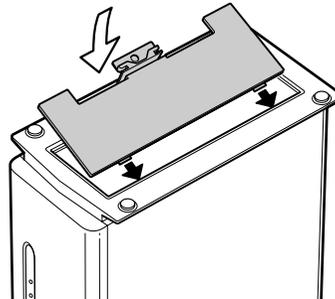
3 乾電池を下図の向きにあわせて入れる。



⚠ 警告

乾電池を入れるときには、電池のプラス(+)マイナス(-)を本体の表示に合わせてください。向きを間違えて入れると、電池の破裂や液漏れにより、火災・化学やけど、周囲を汚損する原因となることがあります。

4 電池ボックスカバーを閉じる。



電源を接続する

アースコードを接続してから、付属のACアダプタ(P10V1.2A)をコンセントに接続します。

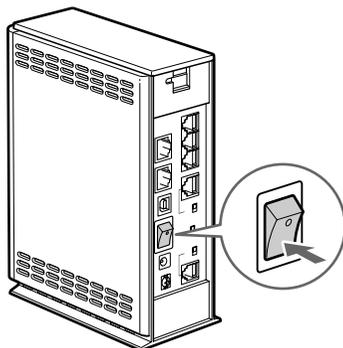
ご注意

- ACアダプタは、必ず本機に付属のものを使用してください。他のACアダプタを使用すると、火災や感電、故障の原因になります。
- 本機のアースコードは必ず接続してください。感電防止やノイズ防止の効果があります。
- アースコードは必ずコンセントのアース端子に接続してください。ガス管などには絶対に接続しないでください。

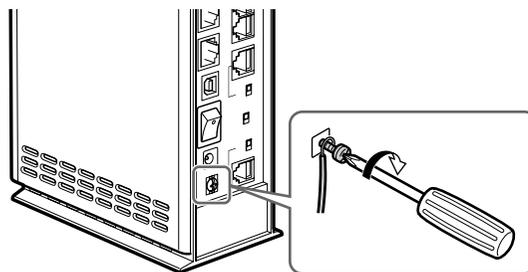
必要なもの

- **アースコード**: 設置場所に合わせて市販のアースコードをご用意ください。
- **ACアダプタ**: 本機に付属のACアダプタ(P10V1.2A)をご使用ください。

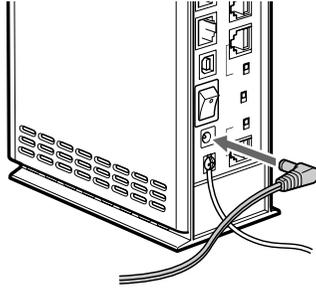
- 1** STANDBY-ON(電源)スイッチが「STANDBY」(スタンバイ)になっていることを確かめる。



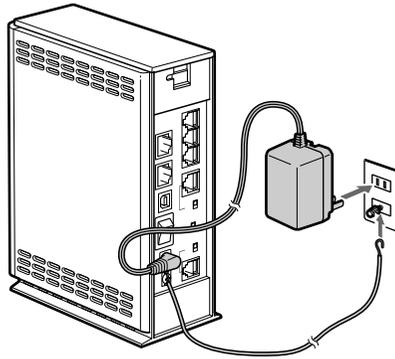
- 2** アース端子のネジを⊕ドライバーで少しゆるめてから、アースコードをアース端子に接続して固定する。



-
- 3** 付属のACアダプタ(P10V1.2A)のコネクタを本機の電源コネクタに接続する。



-
- 4** アースコードをアース端子へ、付属のACアダプタをコンセントに接続する。



ACアダプタを取りはずす際は

先にACアダプタを取りはずしてから、アースコードを取りはずしてください。

電話機やFAXを接続する

ISDN回線を使用する場合は、本機のTELポートに電話機やFAX、モデムなどのアナログ機器を3台まで接続できます。TEL1ポートは、バックアップ電池により停電時にも通話できますので、電話機や受話器付FAXを接続してください。ISDN回線を使用しない場合は、以下の操作は不要です。「パソコンを接続する」(40ページ)に進んでください。

ご注意

- 各TELポートにはアナログ機器1台のみ接続可能です。分岐アダプタや切替器などで2台以上接続した場合は正しく動作しません。
- アナログ機器は3台まで接続できますが、ISDN回線を同時に使えるのはルータやTAによる通信と合わせて2通話までです。

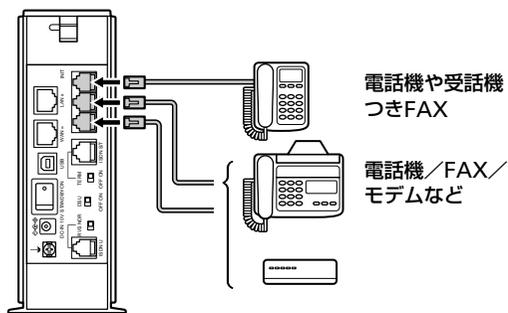
ADSL接続の場合は、電話機やFAXはスプリッタに接続してください
本機のTELポートに接続しても、電話機やFAXは使えません。

接続する

必要なもの

- **モジュラーケーブル**:市販の電話用ケーブルが使用できます(2極用、4極用、6極用のいずれでも可、ただしビジネスホン専用の特殊な結線のものは除く)。アナログ機器の数や距離に合わせてご用意ください。

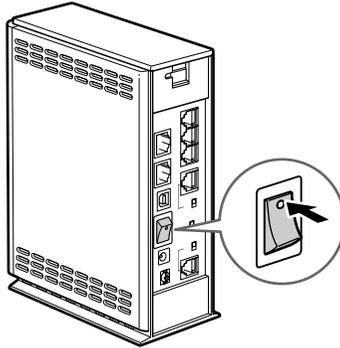
電話機と本機のTELポートをモジュラーケーブルで接続する。



正しく接続できているか確認する

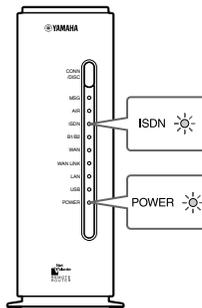
回線や電話機の接続が終わったら、ルータの動作を確認します。

- 1 付属のACアダプタをコンセントに接続してから、STANDBY-ONスイッチを「ON」(入)にする。



電源を入れると、ランプが何回か点滅します。

- 2 POWERランプとISDNランプが点灯していることを確認する。



両方のランプが点灯していれば正常です。手順6へ進んでください。
点灯していないときは次の手順へ進み、順に確認してください。

- 3 POWERランプが点灯しない場合は、いったんSTANDBY-ONスイッチを「STANDBY」(スタンバイ)にしてから、以下の点を確認する。

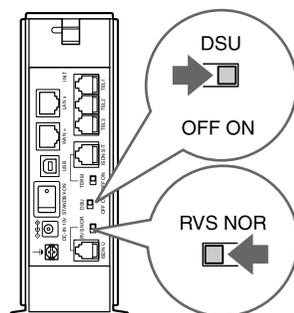
- ACアダプタが本機のコネクタやコンセントに、しっかりと接続されていることを確認してください。
- コンセントに他の電気製品を接続し、電源が入るかどうかを確認してください。入らない場合は、ブレーカの状態や延長コードの接続を確認してください。

上記に該当しない場合は、ルータ本体またはACアダプタ不良の可能性
があります。お買い上げの販売店へご相談ください。

4 ISDNランプが消灯している場合は、いったんSTANDBY-ONスイッチを「STANDBY」(スタンバイ)にしてから、各スイッチの設定を確認する。

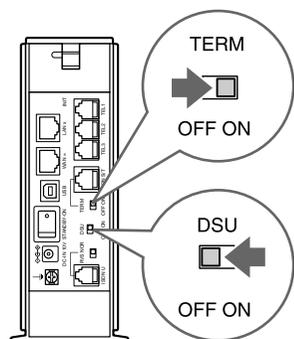
本機のDSUを使う場合

- DSUスイッチが「ON」になっていることを確認します。すでに「ON」になっている場合は、RVS/NOR(極性反転)スイッチを「RVS」(逆側)にします。
- 本機のS/Tポートに何も接続していない場合はTERMスイッチを「ON」、他のISDN機器を接続している場合は「OFF」にします。



他のISDN機器のDSUを使う場合

DSUスイッチが「OFF」になっていることを確認します。すでに「OFF」になっている場合は、TERMスイッチを「ON」にします。ただし、他のISDN機器のターミネータをオン(有効)にしている場合は、「OFF」にしてください。

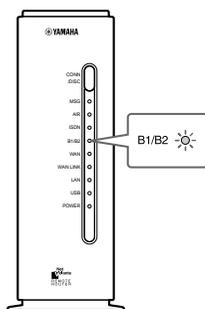


5 STANDBY-ONスイッチを「ON」(入)にして、ランプの表示を確認する。

6 電話機の手話器を上げて、ツーンという発信音を確認する。

7 試しに177などへ電話をかけてみる。

電話がつながると、B1/B2ランプが点灯します。



8 手話器を置いて、電話を切る。

TELポートの設定を変更する

電話機やFAXなどを接続していないTELポートが「着信可能」に設定されていると、かかってきた電話がそのTELポートに着信してしまい、回線が話し中にならない場合があります。何も接続していないTELポートがある場合は、本機に接続した電話機を使って、そのTELポートを「使用しない」に設定してください（本機の工場出荷設定は、すべてのTELポートが「発信・着信可能」に設定されています）。

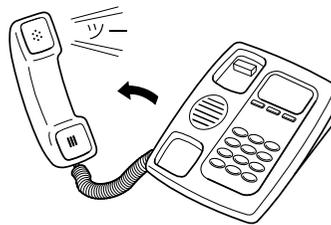
ご注意

電話機のダイヤル設定は、必ず「トーン」(プッシュ)にして操作してください。「パルス」(ダイヤル)の設定およびトーンの機能がない電話機では、設定できません。

💡ヒント

すべてのTELポートにアナログ機器を接続している場合は、この設定は不要です。

1 本機のTELポートに接続した電話機の、受話器を上げる。



発信音が聞こえます。

2 電話機を接続していないTELポートの設定番号を押す。

- TEL1ポートを使用しない場合：✖️Ⓜ️ ①④ ① ① ① ① Ⓜ️
- TEL2ポートを使用しない場合：✖️Ⓜ️ ①④ ② ① ① ① Ⓜ️
- TEL3ポートを使用しない場合：✖️Ⓜ️ ①④ ③ ① ① ① Ⓜ️

「ピー」という音が聞こえて、設定が変更されます。

「ピー、ピー」と聞こえたときは

設定内容が不適切だったり、設定が正常に変更されていません。
いったん受話器を置いて、手順1からやり直してください。

3 受話器を置く

💡ヒント

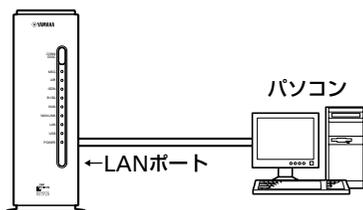
その他の電話機能の設定操作については、別冊の「活用マニュアル」の「電話機で設定する」(20ページ)をご覧ください。

パソコンを接続する

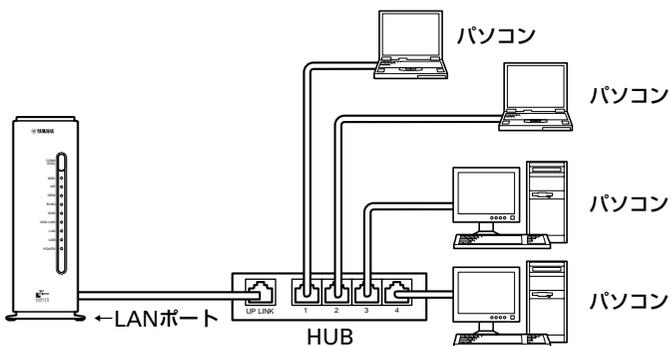
パソコンのLANポートに接続する場合や既存のLANに接続する場合は、本機のLANポートに接続します。本機のLANポートには、パソコンを1台だけ直接接続できます。複数のパソコンを接続したいときや、既存のLANに追加したい場合は、市販のHUBをお使いください。

また、無線LANを利用すれば、HUBを利用することなく、複数のパソコンを接続できます。詳しくは「無線LANに接続する」(42ページ)をご覧ください。

パソコンを本機に直接接続する場合



HUBを利用して複数のパソコンを接続する場合の例



ご注意

DHCPサーバを使用しているLANに本機を接続する場合は、下記の設定が必要です。設定を行わないとLANの通信ができなくなります。

- 本機のDHCP機能:OFF
- 本機のIPアドレス:指定されたIPアドレスに設定するか、またはDHCPクライアントとして設定する。

必要なもの

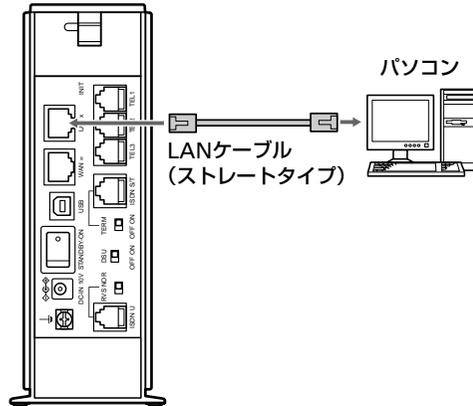
- LANケーブル:パソコンの台数や距離に合わせて10BASE-T/100BASE-TX対応のLANケーブル(ストレートタイプまたはクロスタイプ)をご用意ください。本機にはストレートタイプのケーブル(3m)が1本付属しています。
- HUB:複数のパソコンを接続する場合は、パソコンの台数に合ったポート数を備えた、10BASE-T/100BASE-TX対応のHUB(またはスイッチングHUBなど)をご用意ください。

1 本機の電源を切る。

2 パソコンのLANポートやHUBのポートと本機のLANポートを、LANケーブルで接続する。

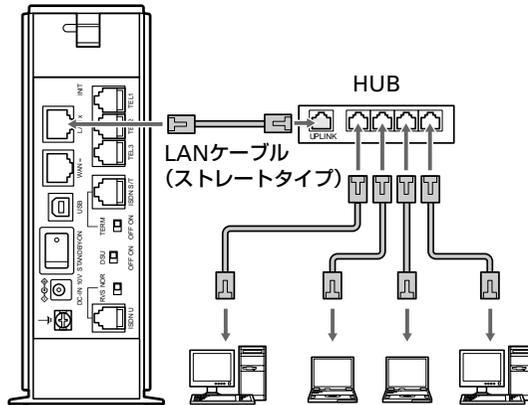
パソコンを本機に直接接続する例

本機のLANポートに接続します。



複数のパソコンを接続する例

HUBの場合は、UPLINK(カスケード)ポートを接続します。



HUBにUPLINK(カスケード)ポートがない場合や、UPLINKポートが空いていない場合は

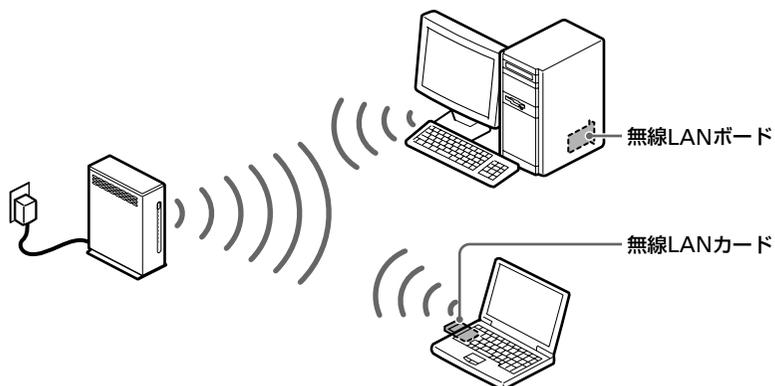
HUBのポートと本機のLANポートを、市販のクロスタイプのLANケーブルで接続してください。

ご注意

HUBは10BASE-Tの場合4段(階層)まで、10/100BASE-TX混在の場合2段(階層)までしかUPLINK(カスケード)接続できません。ポート数の多いHUBやスイッチングHUBなどを使用して、階層数が規定以内になるように設置してください。

無線LANに接続する

本機に内蔵の無線LANには、ノートパソコンやデスクトップパソコン、複数のRTW65iを接続できます。



ご注意

- 本機の工場出荷状態では、無線LANによる本機へのアクセスが可能になっていません。無線LANを使用しない場合は、不正アクセスを防ぐために無線モードをオフにしてください。
- WEP(暗号化機能)を使用しないと、無線LANの部外者が勝手に接続できる状態になります。不正侵入や盗聴、妨害、データの消失、破壊などにつながる危険があるだけでなく、無線LAN経由でISDN回線を使用されて予想外の電話料金やプロバイダ接続料金を請求されるおそれがあります。そのため、WEPをご使用になることを強くおすすめいたします。
- 本機の無線LANに多くのパソコンを接続すると、通信速度が著しく低下します。無線LANは32台以内で構築してください(同時使用可能な無線端末数は、使用環境により減る場合があります)。
- 複数のRTW65iを接続する場合の設置方法については、別冊の「活用マニュアル」の「無線で複数のRTW65iを接続する」(105ページ)をご覧ください。
- パソコンを無線LANで接続するときは、遮蔽物がなく見通しの良い場所で、あらかじめ接続状態の確認してください。
- 使用中に動作が不安定になる場合は、本機やパソコンの設置場所、設置方向を変えてみてください。

必要なもの

- **無線LANカード(またはボード/アダプタ)**: お使いのパソコンに対応したIEEE802.11b準拠の11Mbit/s無線LANカード(またはボード、アダプタ)と、付属のソフトウェアをご用意ください。

1 本体底面のシールに書かれているLAN側のMACアドレスから、本機のESS-IDを確認する。

本機のESS-IDの初期値は、本機のMACアドレス下6桁の16進数(アルファベットはすべて大文字)に設定されています。



MACアドレス下6桁の16進数

2 パソコンに無線LANカード(またはボード/アダプタ)を取り付けてから、必要なドライバや設定ソフトウェアをインストールする。

詳しくは、無線LANカード(またはボード/アダプタ)の取扱説明書をご覧ください。

3 取り付けた無線LANカード(またはボード/アダプタ)が正しく動作するかどうか確認する。

問題がある場合は、無線LANカード(またはボード/アダプタ)の取扱説明書の説明にしたがって、問題を解決してください。

4 無線LANカード(またはボード/アダプタ)の設定ソフトウェアを起動して、以下の項目を設定する。

本機の設定をまだ行っていない場合(工場出荷時)

- 通信モード: インフラストラクチャモード
- ESS-ID: 手順1で確認したESS-ID
- WEP: オフ

📶 ヒント

本機側の設定をすでに行った場合は、本機の設定に合わせてWEPおよびWEPキーを設定します。

ご注意

- ESS-ID、WEPの設定が両方とも合っていないと、無線LANで本機とパソコンを接続できません。本機に設定した値を正確にメモして、無線接続するすべてのパソコンに必ず同じ値を設定してください。ESS-ID、WEPについては、「無線LANの設定を変更する」(66ページ)をご覧ください。
- ESS-ID、WEP設定を変更している途中は、一時的に本機とパソコンが接続できない状態になります。本機や各パソコンの設定変更がすべて完了すれば、接続できる状態になります。
- 無線LANカード(またはボード/アダプタ)側のパソコンに「アクセスポイントが見つかりません」などの表示が出る場合がありますが、本機との接続の確認や通信速度の確認は、実際に通信をして行ってください。

無線LANの準備が終わったら

次ページ以降の説明にしたがって、設定を続けてください。

また、無線LANのセキュリティを設定するために、「無線LANの設定を変更する」(66ページ)の操作も行ってください。

Webブラウザのバージョンを確認する

本機の設定を変更するには、パソコン上のMicrosoft Internet ExplorerやNetscape NavigatorなどのWebブラウザを使用します(お使いのパソコンに標準インストールされているものを使用できます)。Webブラウザがインストールされていない場合は、設定操作を始める前にインストールしてください。

Windows95/98/Me/2000/XPの場合

本機の設定を行うには、Internet Explorer 4.0以降またはNetscape Navigator 3.0以降(6.0以降を除く)のWebブラウザが必要です。Windows95以降にはInternet Explorerが標準でインストールされているため、新たにWebブラウザをインストールする必要はありません。もし、インストールされていない場合は、別途インストールしてください。

ご注意

お使いのWindows95のバージョンによっては、インストールされているWebブラウザがInternet Explorer 3.0の場合があります。この場合は、Webブラウザをバージョンアップしてください。

MacOSの場合

本機の設定を行うには、Internet Explorer 4.0以降またはNetscape Navigator 3.0以降(6.0を除く)のWebブラウザが必要です。MacOS8.1以降には、Internet Explorerが標準でインストールされているため、新たにWebブラウザをインストールする必要はありません。もし、インストールされていない場合は、別途インストールしてください。

付属ソフトウェアをインストールする

本機には、パソコン側で本機に必要な設定をまとめて行ったり、パソコンから本機のインターネット接続／切断の操作をパソコンから行うために、以下のソフトウェアが付属CD-ROMに収録されています。

- **RTW65iパソコンセットアップ**:パソコンのネットワーク機能を設定します。
- **RTAssist**:パソコンから本機のインターネット接続／切断を操作します。

これらのソフトウェアは簡単に設定や操作を行うためのものであり、本機を使用する上で必須のものではありません。ただし、本書ではこれらのソフトウェアを使って、パソコンの設定の方法を説明しています。

ネットワーク機器の操作や設定に慣れていない方は、次ページ以降の説明にしたがって、設定操作の前にこれらのソフトウェアをインストールすることをおすすめいたします。

- **Windows95/98/Me/2000/XPの場合**:47ページ
- **MacOSの場合**:49ページ

ご注意

- インストールの途中で再起動が必要になる場合がありますので、インストールを始める前に、他のソフトウェアをすべて終了してください。
- Windows 2000/XPの場合は、管理者(Administrators)でログインしてから、インストールを行ってください。

Windows 95/98/Me/2000/XPの場合

RTW65iパソコンセットアップをインストールする

付属CD-ROMに収録されているユーティリティソフトウェア「RTW65iパソコンセットアップ」は、Windows 95/98/Me/2000/XP用のソフトウェアです。設定の前にインストールしてください。

ご注意

すでに古いバージョンのユーティリティソフトウェアがインストールされている場合は、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」で削除（アンインストール）してください。

- 1 付属CD-ROMをパソコンにセットしてから、[InstPCSU]アイコンをダブルクリックする。



- 2 画面の指示に従って操作する。

ソフトウェアのコピーと、スタートメニューへの登録が行われます。

- 3 インストールが終わったら、[完了]をクリックする。

これで、「RTW65iパソコンセットアップ」のインストールは完了です。

RTAssistをインストールする

付属CD-ROMに収録されているユーティリティソフトウェア「RTAssist」は、Windows 95/98/Me/2000/XP用のソフトウェアです。設定の前にインストールしてください。

ご注意

すでに古いバージョンのユーティリティソフトウェアがインストールされている場合は、コントロールパネルの[アプリケーションの追加と削除]で削除(アンインストール)してください。

- 1 付属CD-ROMをパソコンにセットしてから、[InstAsst]アイコンをダブルクリックする。



- 2 画面の指示に従って操作する。

ソフトウェアのコピーと、スタートメニューへの登録が行われます。

- 3 インストールが終わったら、[完了]をクリックする。

これで、RTAssistのインストールは完了です。

MacOSの場合

RTW65iパソコンセットアップをインストールする

付属のCD-ROMからRTW65iパソコンセットアップを直接起動できるため、パソコンへのインストール作業は不要です。

ご注意

ユーティリティソフトウェア「RTW65iパソコンセットアップ」を使用するには、以下の環境が必要です。

- PowerMacintosh
- MacOS8.1以降(MacOS X(Classic環境を含む)には対応していません。)
- OpenTransport1.2以降

RTAssistをインストールする

付属CD-ROMに収録されているユーティリティソフトウェア「RTAssist」をインストールします。

ご注意

ユーティリティソフトウェア「RTAssist」を使用するには、以下の環境が必要です。

- PowerMacintosh
- MacOS8.1以降(MacOS X(Classic環境を含む)には対応していません。)
- OpenTransport1.2以降

付属CD-ROMをパソコンにセットしてから、[ユーティリティ]フォルダ内の[RTAssist]フォルダをハードディスクにコピーする。



これで、RTAssistのインストールは完了です。

パソコンのネットワーク設定を変更する

LANケーブルまたは無線LANで接続したパソコンからインターネットに接続するには、まずパソコンのネットワーク設定を変更する必要があります。インストールしたRTW65iパソコンセットアップのメッセージに従って操作してください。USBケーブルで接続する場合は、別冊の「活用マニュアル」の「第6章 USB接続機能を活用する」(66ページ)をご覧ください。

複数のパソコンを接続する場合は、すべてのパソコンで同様に設定を行ってください。

ご注意

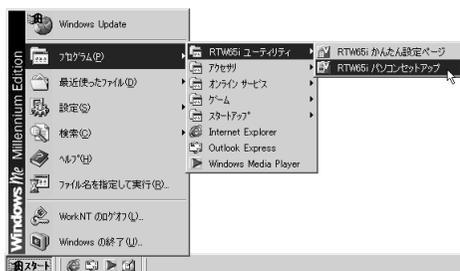
- 以下の説明は、Windows 95/98/Me/2000/XPおよびMacOS8.1以降(Mac OS Xを除く)の環境で、RTW65iパソコンセットアップを使って設定するためのものです。上記以外の環境でお使いの場合は、同等の設定を手動で行ってください(56ページ)。
- プロバイダ契約を解除または変更した時は、必ず本機の接続設定と、パソコンのダイヤルアップネットワーク設定(TA接続利用時)の両方を削除または再設定してください。削除しないまま使っていると、回線業者やプロバイダから意図しない料金を請求される場合があります。
- 設定を始める前に、LANボードやLANカードが正しく動作していることを確認してください。正しく動作していないと、設定が行えません。正しく動作していない場合は、先にボードやカードの問題を解決してから設定を行ってください。
- 設定を始める前に、他のソフトウェアをすべて終了してください。設定の途中で再起動が必要になるため、作業中のデータが消失することがあります。
- ダイヤルアップ接続の設定を行うと、意図しない発信を防ぐためにいくつかのフィルタが自動的に設定されます。
- お使いのパソコンの仕様やソフトウェアの状態によっては、RTW65iパソコンセットアップが正しく動作しないことがあります。その場合は、手動でネットワークの設定を変更してください(56ページ)。

ここではWindows MeとInternet Explorer 5.5の画面を例に説明します。他の環境の場合は画面表示が多少異なりますが、操作は同じです。

1 RTW65iパソコンセットアップを起動する。

Windows95/98/Me/2000/XPの場合

[スタート]ボタンをクリックして、[プログラム]－[RTW65iユーティリティ]－[RTW65iパソコンセットアップ]をクリックする。



Macintoshの場合

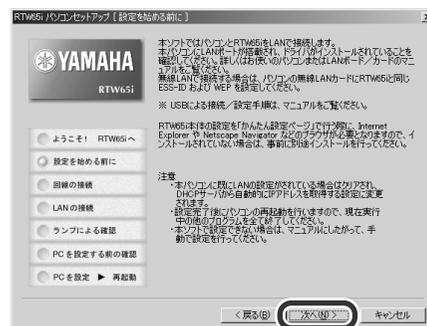
付属のCD-ROMをパソコンにセットしてから、[ユーティリティ]—[RTW65iパソコンセットアップ]フォルダ内の、[パソコンセットアップ]アイコンをダブルクリックする。



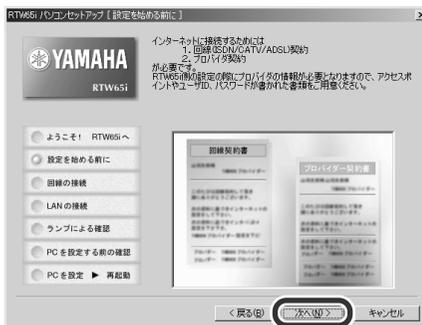
2 [次へ]をクリックする。



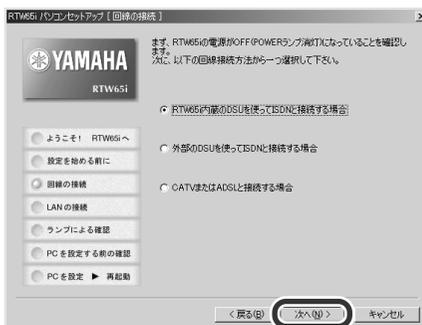
3 メッセージの内容を確認してから、[次へ]をクリックする。



4 プロバイダ登録に必要な情報が揃っているかを確認してから、[次へ]をクリックする。



5 使用する回線接続形態を選んでから、[次へ]をクリックする。



6 接続した回線の種類と、本機後面のスイッチの設定を確認してから、[次へ]をクリックする。

問題がある場合は[キャンセル]をクリックして、問題を解決してから操作をはじめからやり直してください。詳しくは、「回線を接続する」(26ページ)をご覧ください。

RTW65i内蔵のDSUを使って、ISDNで接続する場合



外部のDSUを使って、ISDNで接続する場合



CATV／ADSLで接続する場合



7 本機のLANポートにLANケーブルが接続されていることを確認してから、[次へ]をクリックする。

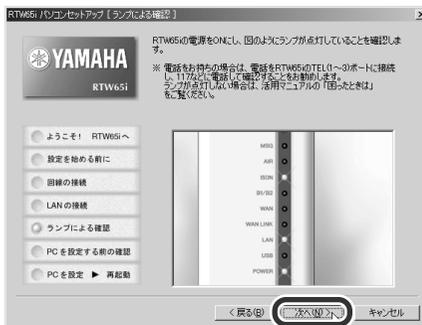
無線LANで接続する場合も、[次へ]をクリックします。

問題がある場合は[キャンセル]をクリックして、問題を解決してから操作をはじめからやり直してください。詳しくは、「パソコンを接続する」(40ページ)をご覧ください。

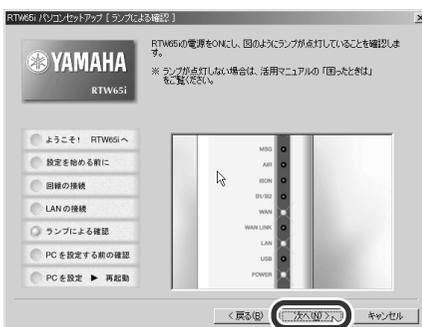


- 8 本機の電源やランプの表示を確認してから、[次へ]をクリックする。**
 問題がある場合は[キャンセル]をクリックして、問題を解決してから操作をはじめからやり直してください。

ISDNで接続する場合

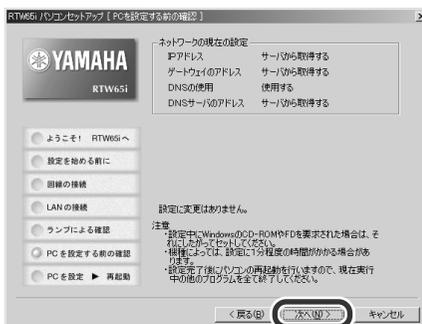


CATV/ADSLで接続する場合



- 9 設定内容を確認してから、[次へ]をクリックする。**

パソコンのネットワーク設定が自動的に行われます。お使いのパソコンの環境によっては、OS(Windows、MacOS)のインストールCD-ROMが必要になる場合があります。



お使いのパソコンの環境によっては、ネットワーク設定の完了後に再起動のメッセージが表示されます。再起動のメッセージが表示されない場合は、そのまま手順11へ進んでください。

10 再起動のメッセージが表示された場合は、[再起動]をクリックする。



パソコンが再起動します。

11 「RTW65iと接続」画面が表示されたら、[開く]をクリックする。



Webブラウザが自動的に起動して、「RTW65iかんたん設定ページへ行く前に」画面が表示されたら、パソコンの設定は完了です。他のパソコンも同様に設定してください。

2台目以降のパソコンを設定している場合は

「RTW65iと接続」が表示されたら、[中止]をクリックします。

引き続き本機の設定を行う場合は

71ページ以降の説明をご覧ください。

手動でネットワーク設定を変更する

付属のRTW65iパソコンセットアップが正しく動作しない場合は、手動でネットワーク機能の設定を変更する必要があります。ネットワーク機能の設定は、LANに接続されているすべてのパソコンで行ってください。

Windows 95/98/Meの場合

Windows 95/98/Meの場合は、次の手順でネットワーク設定を変更します。LANボードやLANカードが装着されていないときは、あらかじめLANボードやLANカードを装着して、正しく動作するかどうかご確認ください。

ご注意

- プロバイダ契約を解除または変更した時は、必ず本機の接続設定と、パソコンのダイヤルアップネットワーク設定(TA接続利用時)の両方を削除または再設定してください。削除しないまま使用していると、回線業者やプロバイダから意図しない料金を請求される場合があります。
- 設定を始める前にLANボードやLANカードが正しく動作していることを確認してください。正しく動作していないと、設定が行えません。正しく動作していない場合は、あらかじめボードやカードの問題を解決してから設定を行ってください。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[設定]－[コントロールパネル]をクリックする。

2 [ネットワーク]アイコンをダブルクリックして、リストに「TCP/IP->(ネットワークボード名)」が表示されているかどうか確認する。

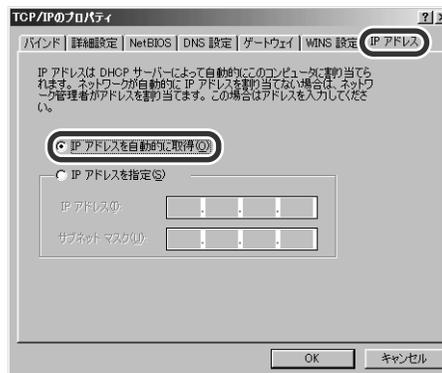


「TCP/IP->(ネットワークボード名)」が表示されていない場合は [追加] をクリックして、[プロトコル]の追加からMicrosoftの[TCP/IP] をクリックして、追加してください。

-
- 3** [TCP/IP->(ネットワークボード名)]を選んでから、[プロパティ]をクリックする。



-
- 4** [IPアドレス]タブをクリックしてから[IPアドレスを自動的に取得]を選び、[OK]をクリックする。



-
- 5** [OK]をクリックする。

設定を変更した場合は、パソコンを再起動してください。

Windows 2000の場合

Windows2000の場合は、次の手順でネットワーク機能の設定を変更します。LANボードやLANカードが装着されていないときは、先にLANボードやLANカードを装着して、正しく動作するかどうかご確認ください。

Windows2000のネットワーク設定を行うには、管理者 (Administrators) グループの権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

ご注意

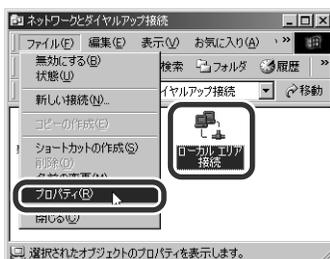
- プロバイダ契約を解除または変更した時は、必ず本機の接続設定と、パソコンのダイヤルアップネットワーク設定(TA接続利用時)の両方を削除または再設定してください。削除しないまま使っていると、回線業者やプロバイダから意図しない料金を請求される場合があります。
- 設定を始める前にLANボードやLANカードが正しく動作していることを確認してください。正しく動作していないと、設定が行えません。正しく動作していない場合は、先にボードやカードの問題を解決してから設定を行ってください。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[設定]－[コントロールパネル]をクリックする。

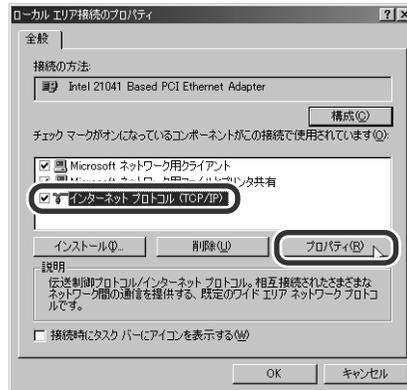
2 [ネットワークとダイヤルアップ接続]をダブルクリックする。



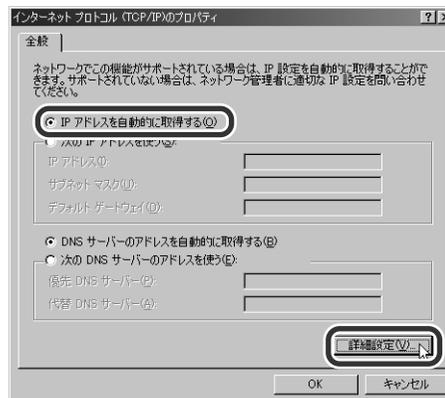
3 本機を接続しているネットワークボード名の[ローカルエリア接続]をクリックして選んでから、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選ぶ。



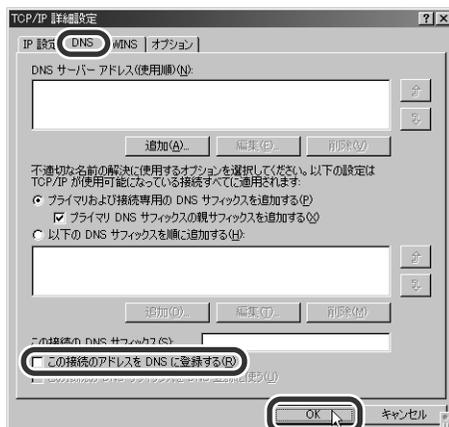
-
- 4** リストの[インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選んでから、[プロパティ]をクリックする。



-
- 5** [IPアドレスを自動的に取得する]を選んでから、[詳細設定]をクリックする。



- 6** [DNS]タブをクリックしてから[この接続のアドレスをDNSに登録する]のチェックを外し、[OK]をクリックする。



[TCP/IP詳細設定]画面が閉じます。

- 7** [OK]を何回かクリックして、「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面と「ローカルエリア接続のプロパティ」画面を閉じる。

設定を変更した場合は、パソコンを再起動します。

WindowsXPの場合

WindowsXPの場合は、次の手順でネットワーク機能の設定を変更します。LANボードやLANカードが装着されていないときは、先にLANボードやLANカードを装着して、正しく動作するかどうかご確認ください。

WindowsXPのネットワーク設定を行うには、管理者(Administrators)グループの権限を持つユーザとしてログインする必要があります。

ご注意

- プロバイダ契約を解除または変更した時は、必ず本機の接続設定と、パソコンのダイヤルアップネットワーク設定(TA接続利用時)の両方を削除または再設定してください。削除しないまま使っていると、回線業者やプロバイダから意図しない料金を請求される場合があります。
- 設定を始める前にLANボードやLANカードが正しく動作していることを確認してください。正しく動作していないと、設定が行えません。正しく動作していない場合は、先にボードやカードの問題を解決してから設定を行ってください。

1 [スタート]ボタンをクリックして、[コントロールパネル]をクリックする。

2 [ネットワークとインターネット接続]をクリックする。



3 [ネットワーク接続]をクリックする。



4 [ローカルエリア接続]のアイコンをクリックする。



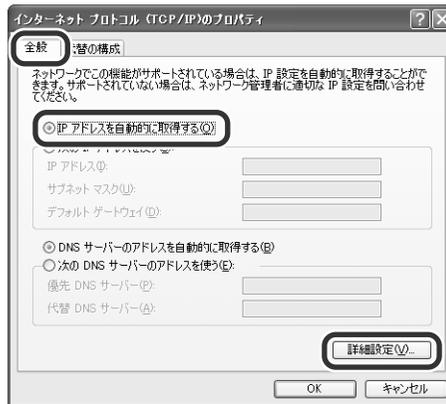
5 [この接続の設定を変更する]をクリックする。



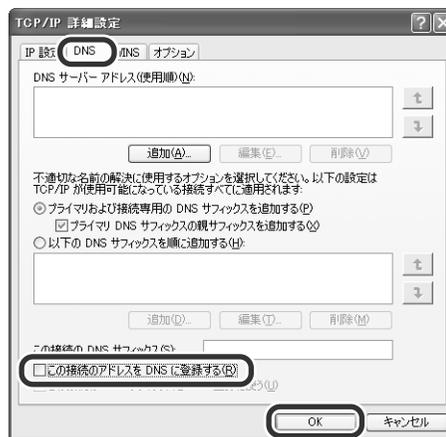
6 [インターネットプロトコル(TCP/IP)]を選んでから、[プロパティ]をクリックする。



- 7 [全般]タブをクリックして[IPアドレスを自動的に取得する]を選んだから、[詳細設定]をクリックする。



- 8 [DNS]タブをクリックしてから[この接続のアドレスをDNSに登録する]のチェックを外し、[OK]をクリックする。



[TCP/IP詳細設定]画面が閉じます。

- 9 [OK]を何回かクリックして、「インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ」画面と「ローカルエリア接続のプロパティ」画面を閉じる。

設定を変更した場合は、パソコンを再起動します。

MacOSの場合

MacOSでは、次の手順でネットワーク機能の設定を変更します。ネットワーク機能の設定の変更は、LANに接続されているすべてのパソコンで行ってください。

ご注意

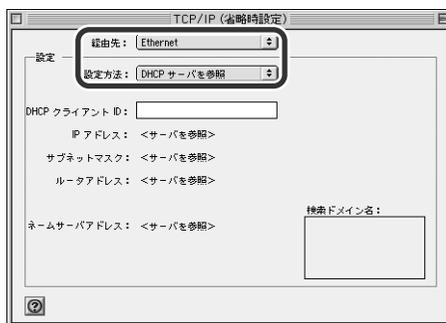
プロバイダ契約を解除または変更した時は、必ず本機の接続設定を削除または再設定してください。削除しないまま使用していると、回線業者やプロバイダから意図しない料金を請求される場合があります。

Mac OS 8.x~9.xの場合

ここでは、[TCP/IP]コントロールパネルを例に説明します。

1 アップルメニューから[コントロールパネル]–[TCP/IP]を選び、以下のように設定する。

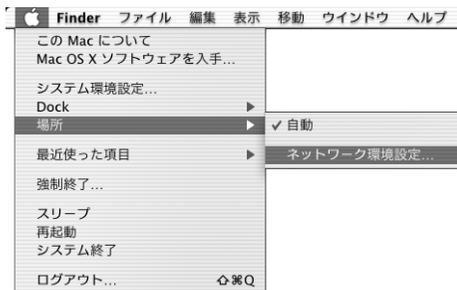
- 経路先: Ethernet
- 設定方法: DHCPサーバを参照



2 設定が終わったら、[ファイル]メニューから[終了]を選ぶ。

3 [保存する]をクリックする。

1 アップルメニューから[場所]－[ネットワーク環境設定]を選ぶ。



2 以下のように設定してから、[保存]をクリックする。

- 場所:自動
- 設定:内蔵Ethernet(標準のLANポート使用時のみ)
- 設定:DHCPサーバを参照



設定後は、[IPアドレス]がルータに設定したDHCPの割り当て範囲(工場出荷状態では192.168.0.2～192.168.0.191)になっていることを確認してください。

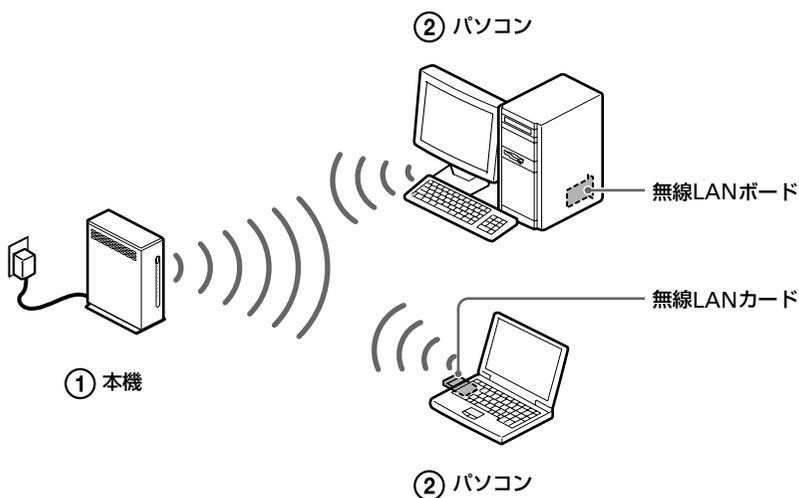
無線LANの設定を変更する

本機の無線LANは、LANのグループ名を表す「ESS-ID」と、使用する周波数を指定する「チャンネル」によって混信を防止しています。他の無線LANと混信したり、エラーが多い場合は、無線LANの設定を変更する必要があります。

また、無線LANのセキュリティを確保するために、本機は無線LANの通信を暗号化する「WEP」(64bitまたは128bitコードによる暗号化)と、接続できる機器をMACアドレスにより制限する「MACアドレスフィルタ」を装備しています。無線LANでデータをやり取りするには、これらの項目を正しく設定する必要があります。

無線LANの設定を変更するときは、下図中の番号順に行ってください

パソコンのみを無線LANで接続している場合は、本機の設定を変更後に各パソコンの無線LAN設定を変更していきます。



ご注意

- 本機の工場出荷状態では、無線LANによる本機へのアクセスが可能になっています。不正使用を防ぐために、暗号(WEP)を設定することを強くおすすめいたします。また、無線LANを使用しない場合は、無線モードをオフにしてください。
- ESS-IDとWEPの設定が正しくないと、無線LANでルータやパソコン間でデータをやり取りできません。無線アクセスポイントルータに設定した値を正確にメモして、必ず同じ値をすべての機器に登録してください。
- 無線LAN側でESS-IDとWEPの設定を変更している間は、一時的にルータやパソコンが接続できない状態になります。各ルータやパソコンの設定変更がすべて完了すれば、接続できる状態になります。

1 使用するESS-ID、チャンネル、WEPとその暗号キーを決める。

ESS-ID

32文字以内の半角英数字を選びます。工場出荷時は本機のLAN側のMACアドレス下6桁の16進数(アルファベットはすべて大文字)に設定されています。LANポートのMACアドレスは、本機底面に記載されています。

チャンネル

1~14チャンネルのうち、無線LANカードや無線LANボードで使用できるチャンネルの中から、他で使っているチャンネルと3つ以上離れたチャンネルを選びます。

例:1チャンネルと5チャンネル、3チャンネルと7チャンネルと11チャンネル

ただし、無線LANの近くで移動体識別用の構内無線局や、特定小電力無線局が運営されている場合は、その無線局と干渉しないチャンネルを選んでください。

WEP

本機は64bitおよび128bitコードに対応しています。お使いの無線LANカード(ボードまたはアダプタ)で利用できるWEPの種類に合わせて、以下のようにWEPキーを決めます。

- **64bitコードのWEP:**5文字の半角英数字、または「0x」+10桁の16進数(例:「rtw65」、「0x12345abcde」)
- **128bitコードのWEP:**13文字の半角英数字、または「0x」+26桁の16進数

ご注意

- 無線LANカード(ボードまたはアダプタ)によっては、128bitコードに対応していないものもあります。この場合は、64bitコードでお使いください。
- 64bitコードと128bitコードのWEPを設定した機器を混在して、無線LANを構築することはできません。WEPを設定する場合は、無線LAN全体を64bitまたは128bitコードのいずれかに統一してください。

2 パソコンでWebブラウザを起動して、[ファイル]メニューから[開く]を選ぶ。

3 「http://setup.netvolante.jp/」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。

本機のIPアドレス(工場出荷時は192.168.0.1)を半角英数字で入力して開くこともできます。



初めて開いたときは、「RTW65iかんたん設定ページへ行く前に」が表示されます。2度目以降は、手順5へ進んでください。

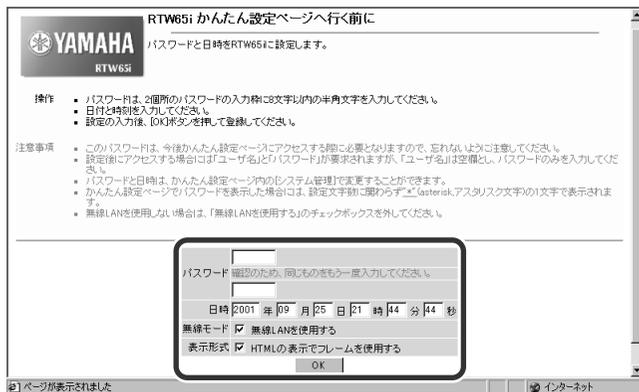
💡ヒント

「RTW65iかんたん設定ページへ行く前に」が表示されないときは、ルータとパソコンの接続や、パソコンの設定を確認してください。

4 ルータの管理パスワードを半角英数字で2つの入力欄に入力し、日時を設定してから[OK]をクリックして、確認のメッセージに従って操作する。

⚠️ご注意

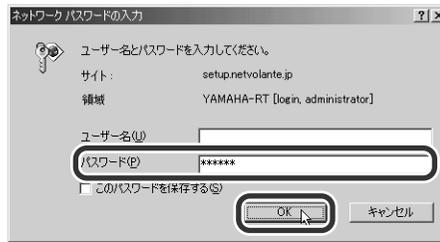
[無線LANを使用する]にチェックが付いていることを確認してください。チェックが付いていないと、無線LANで接続できません。



💡ヒント

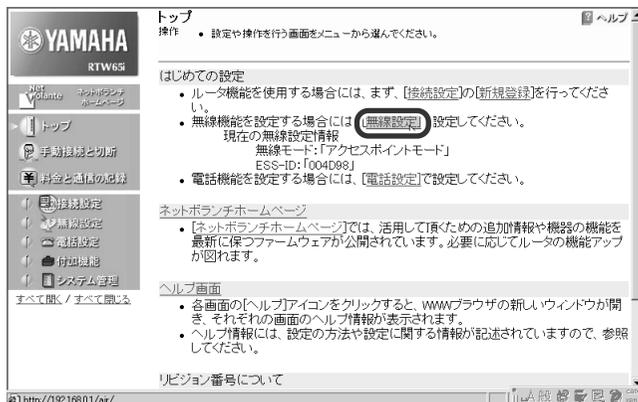
ルータの管理パスワードは、本機の設定を変えるときや情報を見るときに必要になります。プロバイダのパスワードとは別に、大切に管理してください。

5 [パスワード]入力欄にルータの管理パスワードを半角英数字で入力してから、[OK]をクリックする。

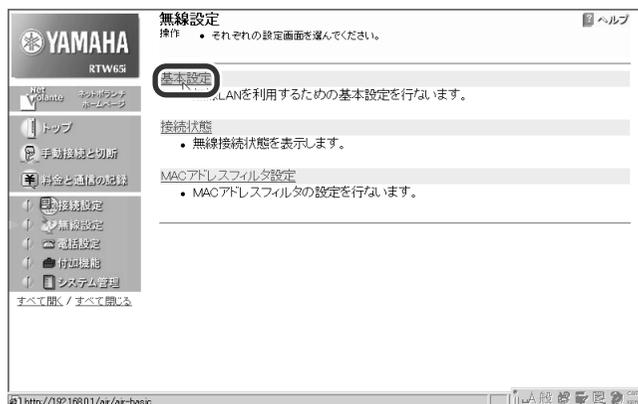


「トップ」画面が表示されます。

6 [無線設定]をクリックする。

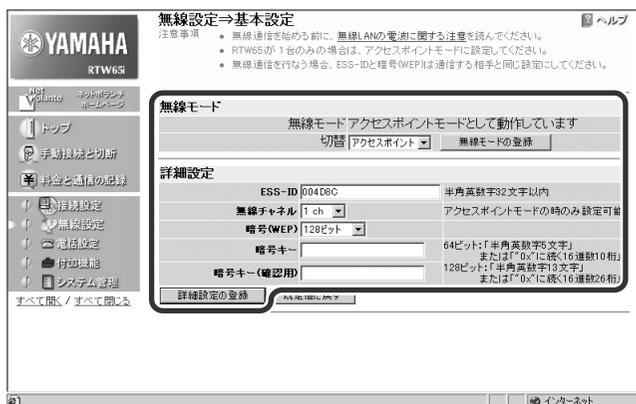


7 [基本設定]をクリックする。



8 以下の設定を行ってから、[詳細設定の登録]をクリックする。

- 無線モード:[アクセスポイント]を選ぶ。
- ESS-ID:ESS-IDを入力する。
- 無線チャンネル:使用するチャンネルを選ぶ。
- 暗号(WEP):お使いの無線カード(ボードまたはアダプタ)に合わせて [64ビット]または[128ビット]を選んでから、WEPのキーを入力する。



メッセージに従ってボタンをクリックすると、設定が変更されます。設定変更後は、一時的に各パソコンと無線接続できなくなります。

※ヒント

設定した暗号キーの文字数を隠すため、ページを再表示したときは、暗号キー欄が「*」一つだけの表示となります。

9 パソコンの無線LANカードに付属する設定ソフトウェアで、本機に設定したものと同一ESS-ID、チャンネル(自動設定の場合は不要)、WEPとその暗号キーをパソコンに設定する。

設定ソフトウェアの操作については、ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

10 パソコンから本機の「かんたん設定ページ」を開く。

開ければ、設定完了です。

他のパソコンの設定も同様に変更してください。

インターネット接続設定をする前に

インターネット接続設定は、パソコンのWebブラウザを使って本機の「かんたん設定ページ」画面にアクセスして行います。接続方法によって操作が異なりますので、お使いの接続方法に合わせた説明をご覧ください。

ご注意

操作をはじめる前に、お使いのパソコンにインストールされているWebブラウザのバージョンを、もう1度ご確認ください(45ページ)。

端末型ダイヤルアップ接続(ISDN)で接続する

「端末型ダイヤルアップ接続用に設定する」(72ページ)をご覧ください。

フレッツ・ISDNで接続する

「フレッツ・ISDN接続用に設定する」(79ページ)をご覧ください。

CATVで接続する

「CATV/ADSL接続用に設定する」(87ページ)をご覧ください。

ADSL(PPPoE方式以外)で接続する

「CATV/ADSL接続用に設定する」(87ページ)をご覧ください。

フレッツ・ADSLで接続する

「フレッツ・ADSL接続用に設定する」(93ページ)をご覧ください。

 **USBポート経由でTA接続またはブロードバンドTA接続する場合は**
別冊の「活用マニュアル」の「USB接続機能を活用する」(66ページ)をご覧ください。

 **専用線で接続する場合は**
別冊の「活用マニュアル」の「専用線で接続する」(140ページ)をご覧ください。

 **PPPoE方式ネットワーク型ADSLで接続する場合は**
別冊の「活用マニュアル」の「PPPoEネットワーク型ADSLで接続する」(146ページ)をご覧ください。

端末型ダイヤルアップ接続用に設定する

端末型ダイヤルアップ接続でインターネットに接続する場合は、本機の「かんたん設定ページ」画面で、端末型ダイヤルアップの接続先を設定します。

ご注意

- プロバイダ契約を解除または変更した時は、必ず本機の接続設定と、パソコンのダイヤルアップネットワーク設定(TA接続利用時)の両方を削除または再設定してください。削除しないまま使っていると、回線業者やプロバイダから意図しない料金を請求される場合があります。
- ダイヤルアップ接続の設定を行うと、意図しない発信を防ぐためにいくつかのフィルタが自動的に設定されます。

ここではWindows MeとInternet Explorer 5.5の画面を例に説明します。他の環境の場合は画面表示が多少異なりますが、操作は同じです。RTW65iパソコンセットアップで引き続き設定する場合は、手順4から始めてください。

1 本機の電源が入っていることを確認する。

2 パソコンでWebブラウザを起動して、[ファイル]メニューから[開く]を選ぶ。

3 「http://setup.netvolante.jp/」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。

本機のIPアドレス(工場出荷時は192.168.0.1)を半角英数字で入力して開くこともできます。



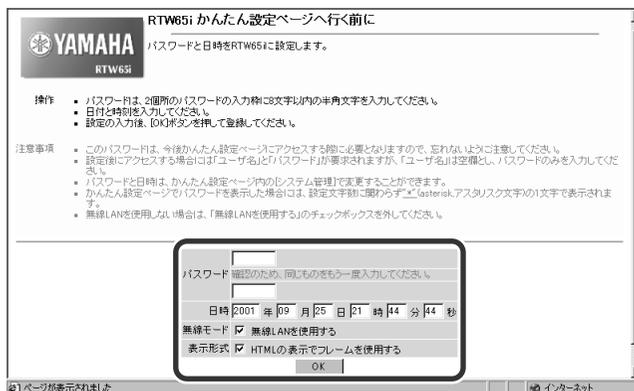
初めて開いたときは、「RTW65iかんたん設定ページへ行く前に」画面が表示されます。2度目以降は、手順5へ進んでください。

※ヒント

「RTW65iかんたん設定ページへ行く前に」画面が表示されないときは、ルータとパソコンの接続や、パソコンの設定を確認してください。

4 ルータの管理パスワードを2つの入力欄に入力し、日時を設定してから[OK]をクリックして、確認のメッセージに従って操作する。

管理パスワードは半角英数字8文字までで、好みに合わせて決めてください(例:rtw65i00、yamaha65など)。



ご注意

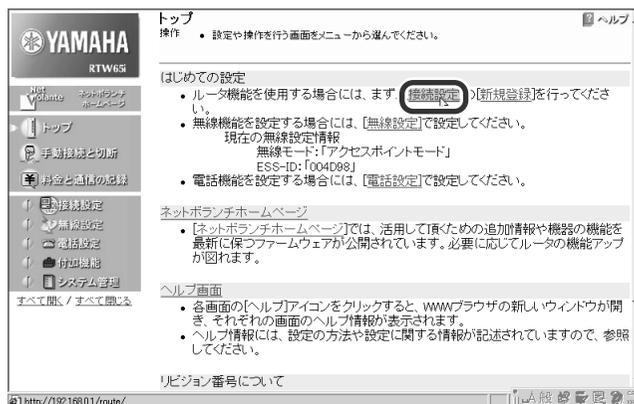
- ルータの管理パスワードは、本機の設定を変えるときや情報を見るときに必要になります。プロバイダのパスワードとは別に、大切に管理してください。
- 無線LANを使用しないときは、不正アクセスを防ぐために[無線LANを使用する]のチェックを外してください。

5 [パスワード]欄にルータの管理パスワードを入力してから、[OK]をクリックする。

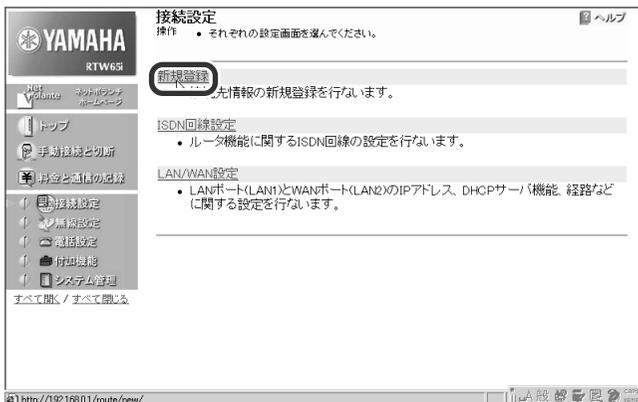


「トップ」画面が表示されます。

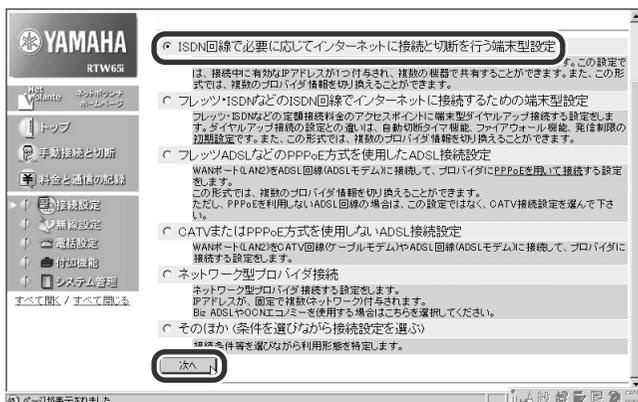
6 [接続設定]をクリックする。



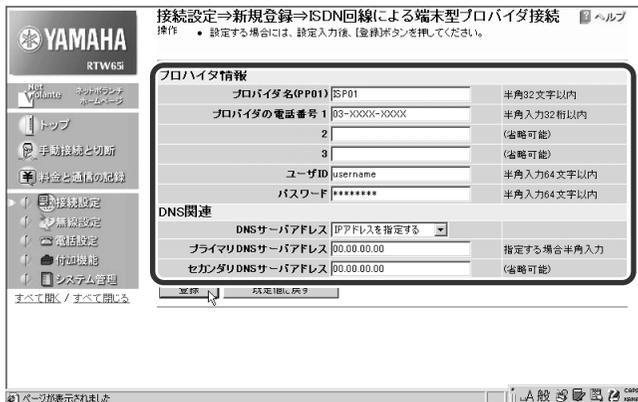
7 [新規登録]をクリックする。



8 [ISDN回線で必要に応じてインターネットに接続と切断を行う端末型設定]を選んでから、[次へ]をクリックする。



9 プロバイダの設定情報書類を見ながら、プロバイダ名と各設定項目を入力する。



プロバイダ名	接続先がわかるような名前を入力します。
プロバイダの電話番号	ISDN対応したアクセスポイントの電話番号を入力します。複数ある場合は、3つまで入力できます。
ユーザID	ダイヤルアップ接続用のユーザIDを入力します。 ユーザIDは、メールアドレスとは異なる場合がありますので、必ず書類を確認してください。 例) username(メールアドレスと同じ場合) username@aaa(サブドメインが付加される場合) username#AB123(識別記号が付加される場合) ABC012345(メールアドレスとは全く異なる場合)
パスワード	指定されたパスワードまたは自分で変更したパスワードを入力します。半角英数字で大文字小文字も正確に入力してください。
DNSサーバアドレス	DNSサーバアドレスの取得方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none"> • IPアドレスを指定する: プロバイダからDNSサーバアドレスが指定されている場合に選びます。 • 接続時に自動取得する: プロバイダからDNSサーバアドレスが指定されていない場合や、自動取得となっている場合に選びます。
プライマリDNSサーバアドレス	DNSサーバアドレスが指定されている場合に入力します。
セカンダリDNSサーバアドレス	DNSサーバアドレスが2つ指定されている場合に入力します(省略できます)。

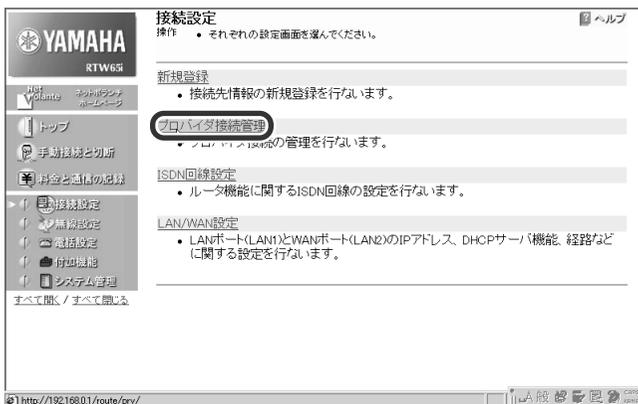
10 入力が終わったら、[登録]をクリックする。

メッセージに従ってボタンをクリックすると、接続先が登録されます。

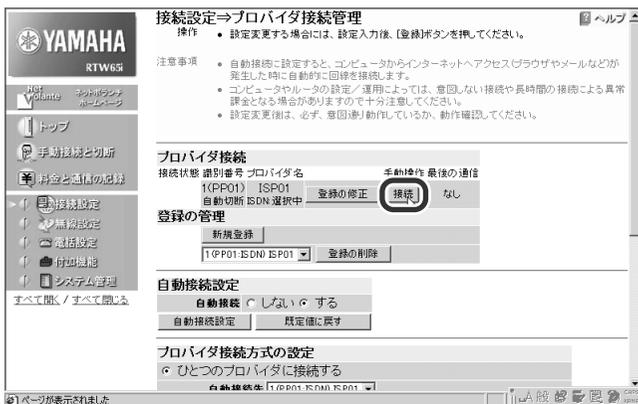
ヒント

設定したパスワードの文字数を隠すため、ページを再表示したときは、パスワード欄が「*」1つだけの表示となります。

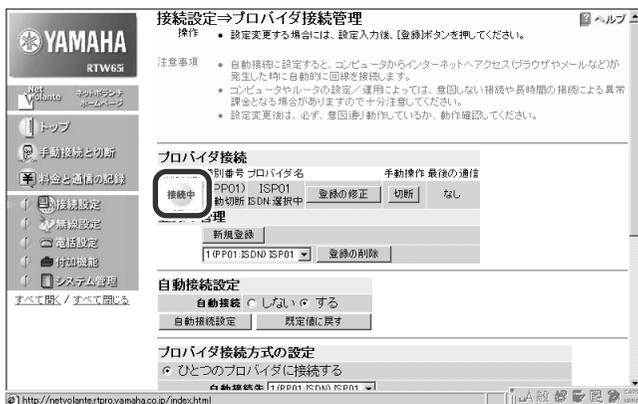
11 [プロバイダ接続管理]をクリックする。



12 登録したプロバイダの[接続]をクリックして、手動接続してみる。



左側に「接続中」が表示されたら、正しく設定されています。インターネットへ接続中は、本機のB1/B2ランプが点灯します。



接続できない場合は

以下のことを確認してください。

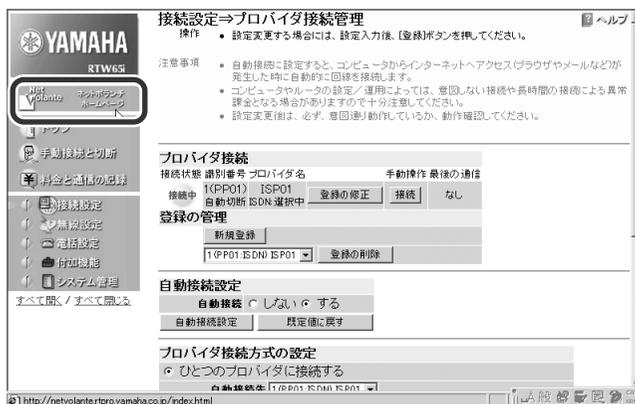
- **「相手が話中です(17)」と表示されている場合:** アクセスポイントが混み合っていて、話し中になっています。

同一市外局内に別のアクセスポイントがある場合は、[登録の修正]をクリックして、別の電話番号を設定し直してください。その番号しかない場合は、しばらく待ってから手動接続を行ってください。

- **それ以外の失敗した理由が表示された場合:** 電話番号やユーザID、パスワードの設定が間違っている可能性があります。

[登録の修正]をクリックして、プロバイダの設定情報書類を見直しながらか設定内容を確認したり、パスワードの大文字/小文字や全角/半角に注意して入力し直してから、もう1度手動接続を行ってください。

13 ページ左上の[ネットボランチホームページ]をクリックする。



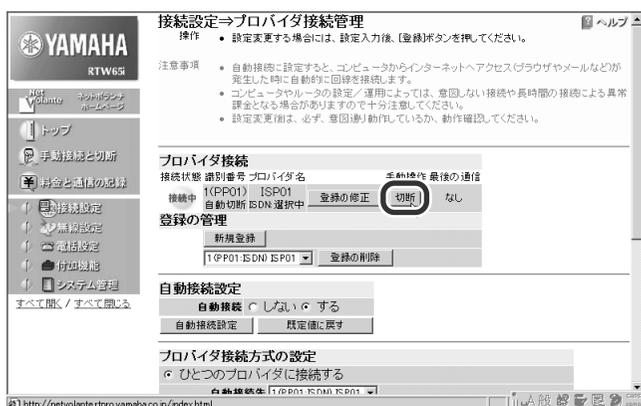
NetVolanteのホームページが表示されれば、ルータの設定は正しく行われています。

表示されない場合は

DNSサーバアドレスの設定が間違っている可能性があります。

[切断]をクリックしていったん接続を切断してから、[登録の修正]をクリックして、設定内容をもう1度確認してください。

14 接続できることを確認できたら、Webブラウザの[戻る]をクリックして、「プロバイダ接続管理」画面に戻り、登録したプロバイダの[切断]をクリックして、手動切断する。

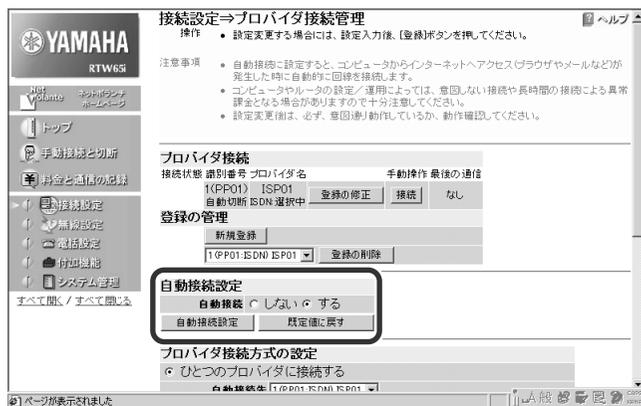


手動切断しなくても、一定時間インターネットへアクセスしないと、自動的にプロバイダとの接続が切れます。

ヒント

プロバイダ登録を新規に行くと、自動的に発信制限が累積料金1万円、累積通信時間50時間、累積発信回数1000回に設定されます。また連続接続時間も9時間に制限されるように設定されます。

15 [自動接続設定]が[する]に設定されていて、[自動接続先]に登録したプロバイダが選ばれていることを確認する。



これで、ルータの端末型ダイヤルアップ接続設定は完了です。

ご注意

自動接続を設定すると、パソコンやソフトウェアの設定により、意図しない接続や課金が発生することがあります。自動接続したくないときは、[しない]を選んでから[自動接続設定]をクリックして、設定を解除してください。

フレッツ・ISDN接続用に設定する

フレッツ・ISDN接続でインターネットに接続する場合は、本機の「かんたん設定ページ」画面で、フレッツ・ISDNの接続先を設定します。

ご注意

- プロバイダ契約を解除または変更した時は、必ず本機の接続設定と、パソコンのダイヤルアップネットワーク設定(TA接続利用時)の両方を削除または再設定してください。削除しないまま使用していると、回線業者やプロバイダから意図しない料金を請求される場合があります。
- インターネットへ常時接続する場合は、インターネット側から不正なアクセスや攻撃を受ける可能性が高くなります。十分なセキュリティ設定を行って、ご使用ください。詳しくは別冊の「活用マニュアル」の「第8章 ファイアウォール機能を使う」(112ページ)をご覧ください。

ここではWindows MeとInternet Explorer 5.5の画面を例に説明します。他の環境の場合は画面表示が多少異なりますが、操作は同じです。RTW65iパソコンセットアップで引き続き設定する場合は、手順4から始めてください。

1 本機の電源が入っていることを確認する。

2 パソコンでWebブラウザを起動して、[ファイル]メニューから[開く]を選ぶ。

3 「http://setup.netvolante.jp/」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。

本機のIPアドレス(工場出荷時は192.168.0.1)を半角英数字で入力して開くこともできます。

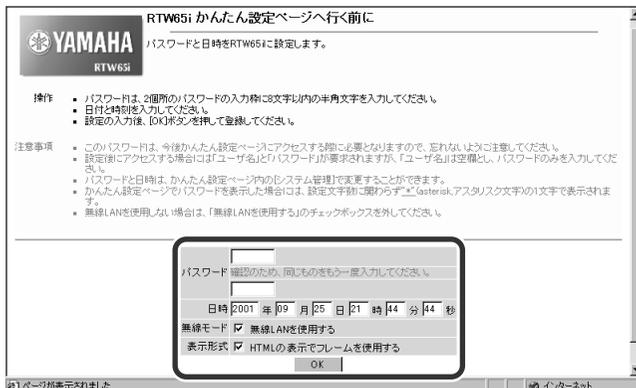


初めて開いたときは、「RTW65iかんたん設定ページへ行く前に」画面が表示されます。2度目以降は、手順5へ進んでください。

ヒント

「RTW65iかんたん設定ページへ行く前に」画面が表示されないときは、ルータとパソコンの接続や、パソコンの設定を確認してください。

- 4 ルータの管理パスワードを2つの入力欄に入力し、日時を設定してから[OK]をクリックして、確認のメッセージに従って操作する。**
 管理パスワードは半角英数字8文字までで、好みに合わせて決めてください(例:rtw65i00、yamaha65など)。



ご注意

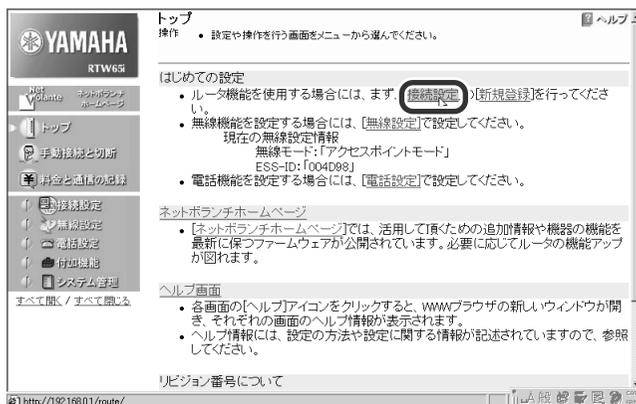
- ルータの管理パスワードは、本機の設定を変えるときや情報を見るときに必要になります。プロバイダのパスワードとは別に、大切に管理してください。
- 無線LANを使用しないときは、不正アクセスを防ぐために[無線LANを使用する]のチェックを外してください。

- 5 [パスワード]欄にルータの管理パスワードを入力してから、[OK]をクリックする。**

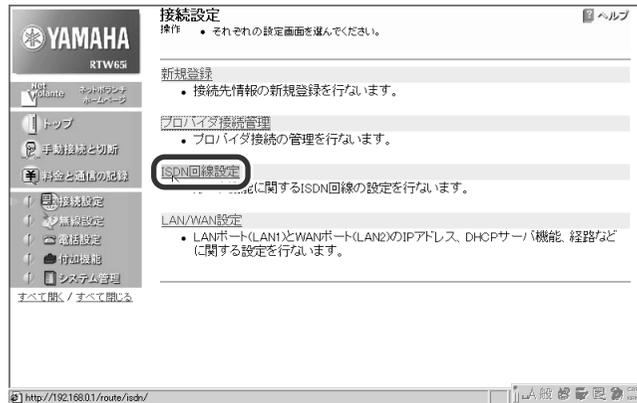


「トップ」画面が表示されます。

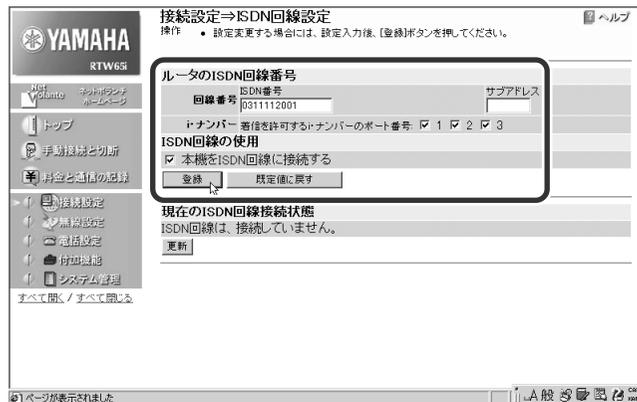
- 6 [接続設定]をクリックする。**



7 [ISDN回線設定]をクリックする。



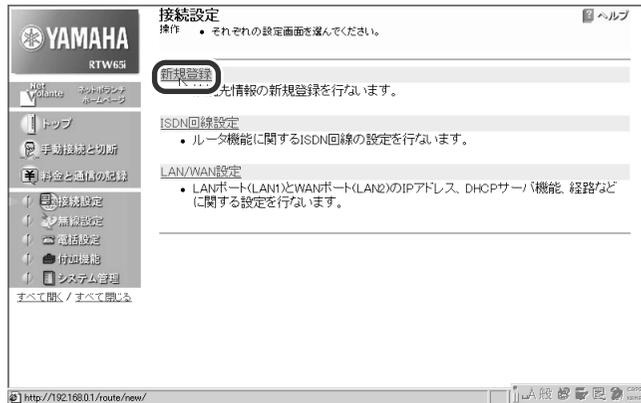
8 本機のISDN回線番号およびサブアドレスを入力してから、[登録]をクリックする。



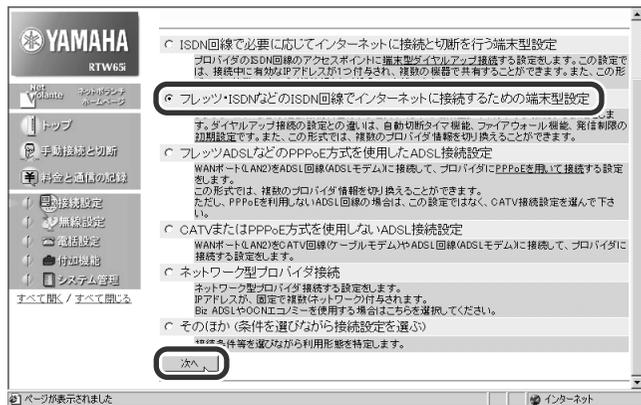
9 [接続設定]をクリックする。



10 [新規登録]をクリックする。

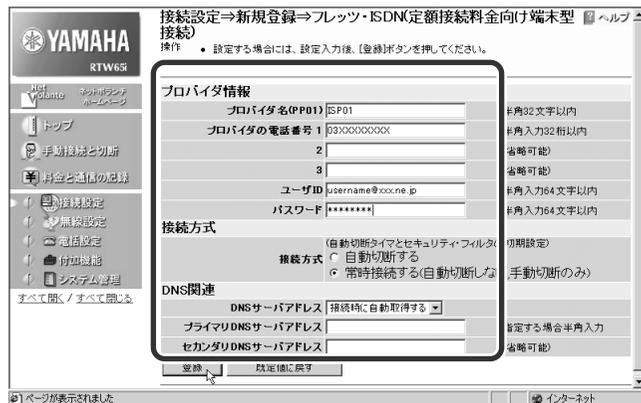


11 [フレッツ・ISDNなどのISDN回線でインターネットに常時接続するための端末型設定]を選んでから、[次へ]をクリックする。



設定入力画面が表示されます。

12 NTTとプロバイダの設定情報書類を見ながら、プロバイダ名と各設定項目を入力する。



プロバイダ名	接続先がわかるような名前を入力します。
--------	---------------------

プロバイダの電話番号	NTTから指定された電話番号を入力します。
------------	-----------------------

ユーザID	プロバイダから指定されたフレッツ・ISDN接続用のユーザIDを入力します。ユーザIDは、必ず書類を確認してください。 例) username@provider.ne.jp username@aaa.provider.ne.jp (サブドメインが付加される場合)
-------	---

パスワード	指定されたパスワードまたは自分で変更したパスワードを入力します。半角英数字で大文字小文字も正確に入力してください。
-------	---

接続方式	フレッツ・ISDNの使いかたを選びます。 <ul style="list-style-type: none">• 自動切断する: ISDNの2回線分をなるべく電話やFAXなどで使いたい場合に選びます。• 常時接続する: 1チャンネルを常に接続したままにしたい場合に選びます。
------	--

DNSサーバアドレス	DNSサーバアドレスの取得方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none">• IPアドレスを指定する: プロバイダからDNSサーバアドレスが指定されている場合に選びます。• 接続時に自動取得する: プロバイダからDNSサーバアドレスが指定されていない場合や、自動取得となっている場合に選びます。
------------	---

プライマリDNSサーバアドレス	DNSサーバアドレスが指定されている場合に入力します。
-----------------	-----------------------------

セカンダリDNSサーバアドレス	DNSサーバアドレスが2つ指定されている場合に入力します(省略できます)。
-----------------	---------------------------------------

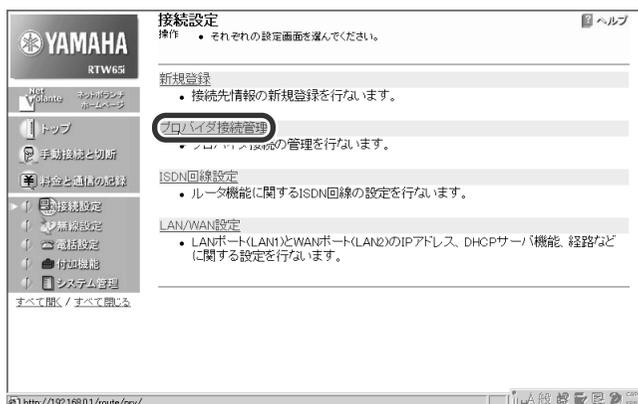
13 入力が終わったら、[登録]をクリックする。

メッセージに従ってボタンをクリックすると、接続先が登録されます。

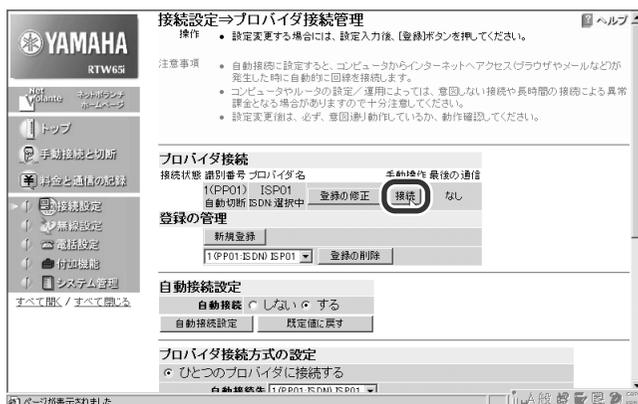
※ヒント

設定したパスワードの文字数を隠すため、ページを再表示したときは、パスワード欄が「*」1つだけの表示となります。

14 [プロバイダ接続管理]をクリックする。



15 登録したプロバイダの[接続]をクリックして、手動接続してみる。



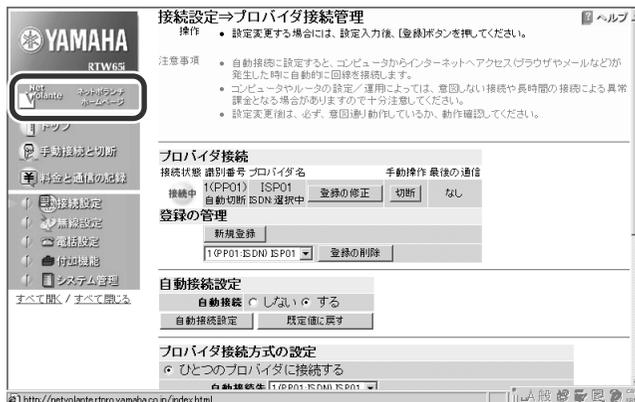
左側に「接続中」が表示されたら、正しく設定されています。インターネットへ接続中は、本機のB1/B2ランプが点灯します。

接続できない場合は

以下のことを確認してください。

- ・「相手が話中です(17)」と表示されている場合:アクセスポイントが混み合っていて、話し中になっています。
[登録の修正]をクリックして、電話番号の設定を確認してください。
正しく設定されている場合は、フレッツ・ISDN回線に問題があります。NTTへお問い合わせください。
- ・それ以外の失敗した理由が表示された場合:ユーザIDやパスワードの設定が間違っている可能性があります。
[登録の修正]をクリックして、プロバイダの設定情報書類を見直しながら設定内容を確認したり、パスワードの大文字/小文字や全角/半角に注意して入力し直してから、もう1度手動接続を行ってください。

16 ページ左上の[ネットボランチホームページ]をクリックする。



NetVolanteのホームページが表示されれば、ルータの設定は正しく行われています。

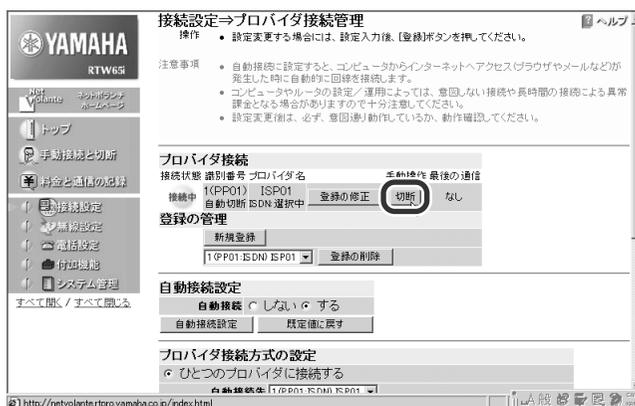
表示されない場合は

DNSサーバアドレスの設定が間違っている可能性があります。

[切断]をクリックしていったん接続を切断してから、[登録の修正]をクリックして、設定内容をもう1度確認してください。

17 接続できることを確認できたら、Webブラウザの[戻る]をクリックして、「プロバイダ接続管理」画面に戻る。

接続方式で[自動切断]を選んでいた場合は、登録したプロバイダの[切断]をクリックして手動切断してください。



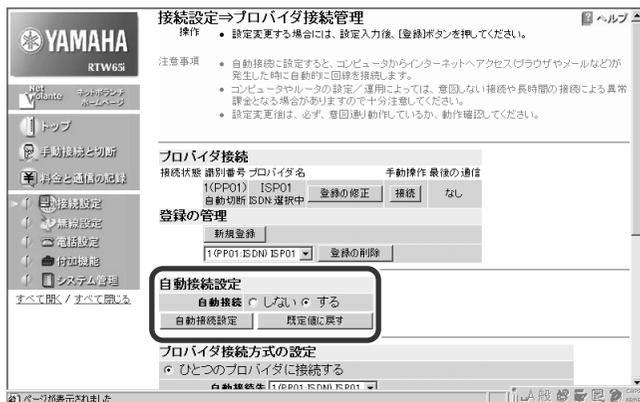
接続方法で[自動切断する]を設定した場合は

手動切断しなくても、一定時間インターネットへアクセスしないと、自動的にプロバイダとの接続が切れます。

🌟 ヒント

フレッツ・ISDNは定額料金制なので、発信制限は自動設定されません。

18 [自動接続設定]が[する]になっていて、[自動接続先]に登録したプロバイダが選ばれていることを確認する。



これでルータのフレッツ・ISDN接続設定は完了です。

CATV/ADSL接続用に設定する

CATVや、PPPoE方式以外のADSLでインターネットに接続する場合は、本機の「かんたん設定ページ」画面で、CATV/ADSLの接続先を設定します。PPPoE方式を使用したADSL接続の場合は、「フレッツ・ADSL接続用に設定する」(93ページ)をご覧ください。

ご注意

- プロバイダ契約を解除または変更した時は、必ず本機の接続設定と、パソコンのダイヤルアップネットワーク設定(TA接続利用時)の両方を削除または再設定してください。削除しないまま使用していると、回線業者やプロバイダから意図しない料金を請求される場合があります。
- インターネットへ常時接続する場合は、インターネット側から不正なアクセスや攻撃を受ける危険性が高くなります。セキュリティには十分ご注意ください。詳しくは別冊の「活用マニュアル」の「第8章 ファイアウォール機能を使う」(112ページ)をご覧ください。

ここではWindows MeとInternet Explorer 5.5の画面を例に説明します。他の環境の場合は画面表示が多少異なりますが、操作は同じです。RTW65iパソコンセットアップで引き続き設定する場合は、手順4から始めてください。

1 本機の電源が入っていることを確認する。

2 パソコンでWebブラウザを起動して、[ファイル]メニューから[開く]を選ぶ。

3 「http://setup.netvolante.jp/」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。

本機のIPアドレス(工場出荷時は192.168.0.1)を半角英数字で入力して開くこともできます。

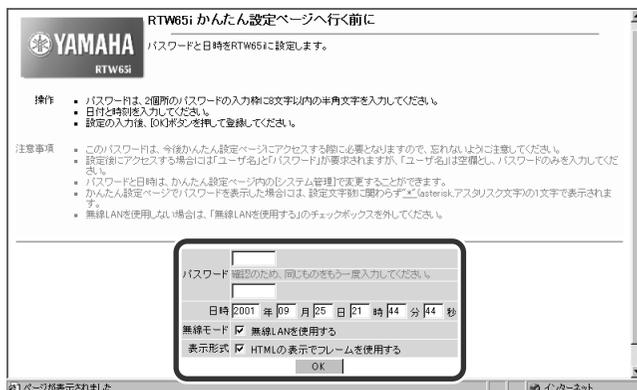


初めて開いたときは、「RTW65iかんたん設定ページへ行く前に」画面が表示されます。2度目以降は、手順5へ進んでください。

※ヒント

「RTW65iかんたん設定ページへ行く前に」画面が表示されないときは、ルーターとパソコンの接続や、パソコンの設定を確認してください。

- 4 ルータの管理パスワードを2つの入力欄に入力し、日時を設定してから[OK]をクリックして、確認のメッセージに従って操作する。**
 管理パスワードは半角英数字8文字までで、好みに合わせて決めてください(例:rtw65i00、yamaha65など)。



ご注意

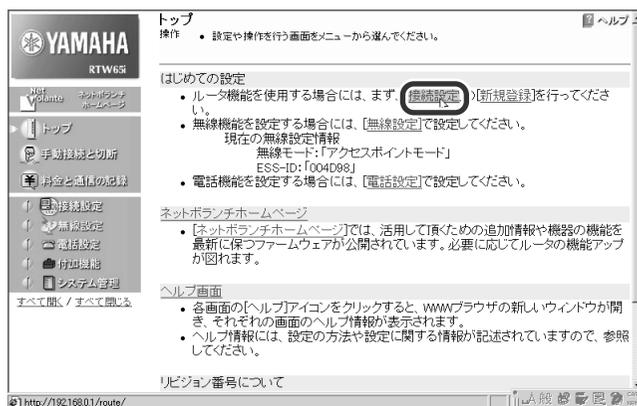
- ルータの管理パスワードは、本機の設定を変えるときや情報を見るときに必要になります。プロバイダのパスワードとは別に、大切に管理してください。
- 無線LANを使用しないときは、不正アクセスを防ぐために[無線LANを使用する]のチェックを外してください。

- 5 [パスワード]欄にルータの管理パスワードを入力してから、[OK]をクリックする。**

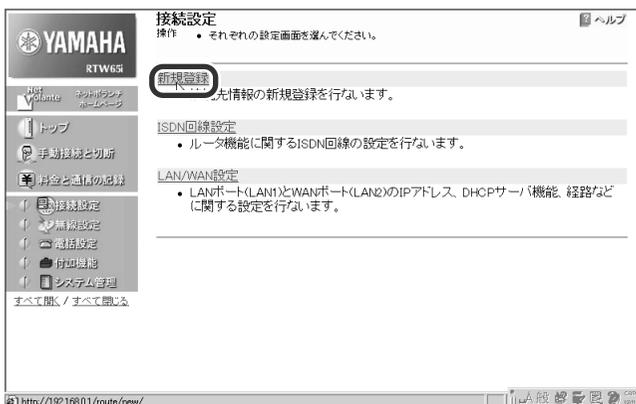


「トップ」画面が表示されます。

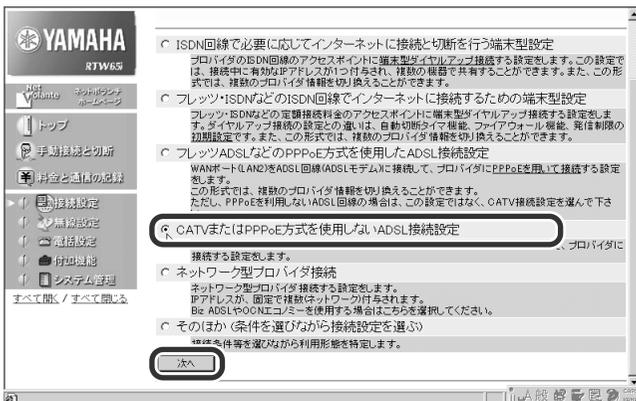
- 6 [接続設定]をクリックする。**



7 [新規登録]をクリックする。

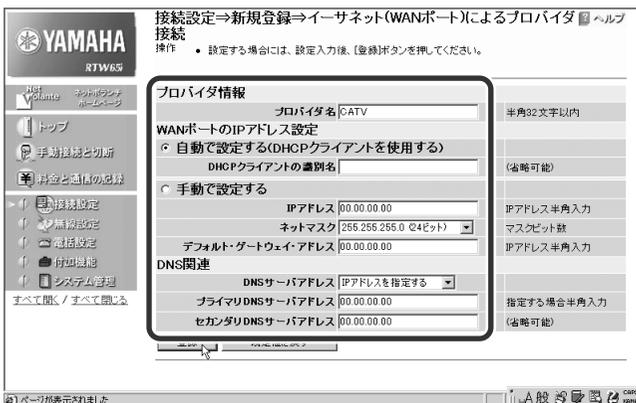


8 [CATVまたはPPPoE方式を使用しないADSL接続設定]を選んでから、[次へ]をクリックする。



設定入力画面が表示されます。

9 プロバイダまたはCATV業者の設定情報書類を見ながら、プロバイダ名と各設定項目を入力する。



プロバイダ名	接続先がわかるような名前を入力します。
--------	---------------------

WANポートのIPアドレス設定	WANポートに割り当てる、IPアドレスの取得方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none">• 自動で設定する:自動取得する場合に選びます。• 手動で設定する:プロバイダ/CATV業者から、IPアドレスが指定されている場合に選びます。
-----------------	---

IPアドレスの指定	IPアドレスがプロバイダ/CATV業者から指定されている場合に入力します。
-----------	---------------------------------------

ネットマスク	ネットマスクがプロバイダ/CATV業者から指定されている場合に入力します。
--------	---------------------------------------

デフォルトゲートウェイアドレス	デフォルトゲートウェイがプロバイダ/CATV業者から指定されている場合に、入力します。
-----------------	---

DNSサーバアドレス	DNSサーバアドレスの取得方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none">• IPアドレスを指定する:プロバイダ/CATV業者からDNSサーバアドレスが指定されている場合に選びます。• 接続時に自動取得する:プロバイダ/CATV業者からDNSサーバアドレスが指定されていない場合や、自動取得となっている場合に選びます。
------------	---

プライマリDNSサーバアドレス	DNSサーバアドレスが指定されている場合に入力します。
-----------------	-----------------------------

セカンダリDNSサーバアドレス	DNSサーバアドレスが2つ指定されている場合に入力します(省略できます)。
-----------------	---------------------------------------

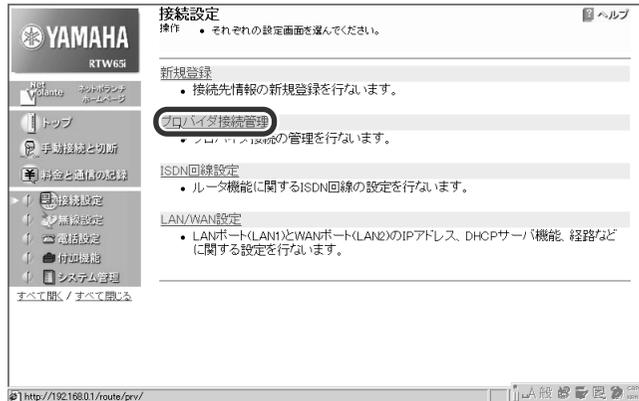
ご注意

本機の工場出荷状態では、LAN側のネットワークアドレスとして「192.168.0.0/24」を使用します。WAN側とLAN側のネットワークアドレスが同じ場合は、本機のIPアドレスを変更して、LAN側のネットワークアドレスを変更してください。詳しくは別冊の「活用マニュアル」の「本機のIPアドレスを変更する」(138ページ)をご覧ください。

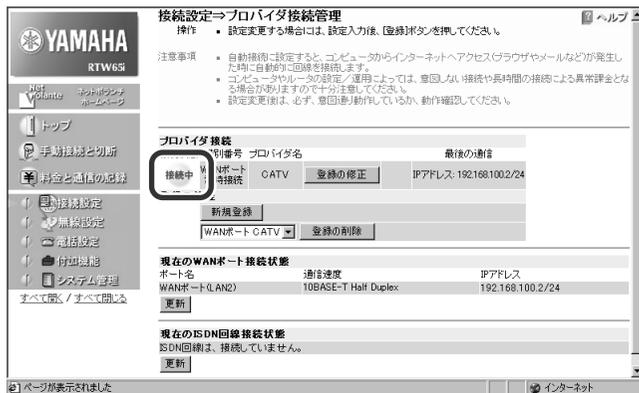
10 入力が終わったら、[登録]をクリックする。

メッセージに従ってボタンをクリックすると、接続先が登録されます。

11 [プロバイダ接続管理]をクリックする。



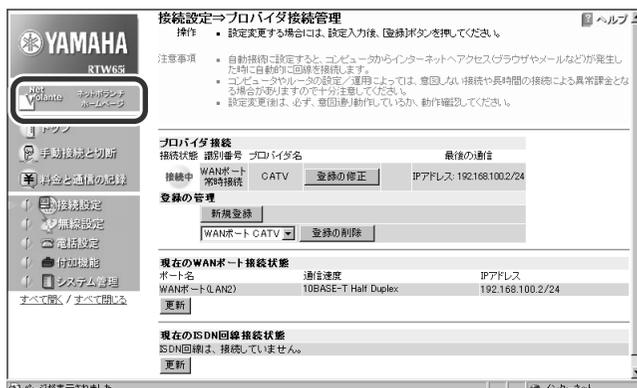
12 左側に「接続中」が表示されていることを確認する。



接続できない場合は

手順9で設定した、[WANポートのIPアドレス設定] (90ページ)の[IPアドレス]や[ネットマスク]の設定が間違っている可能性があります。[登録の修正]をクリックして、プロバイダの設定情報書類を見直しなが設定内容を確認してください。

13 ページ左上の[ネットボランチホームページ]をクリックする。



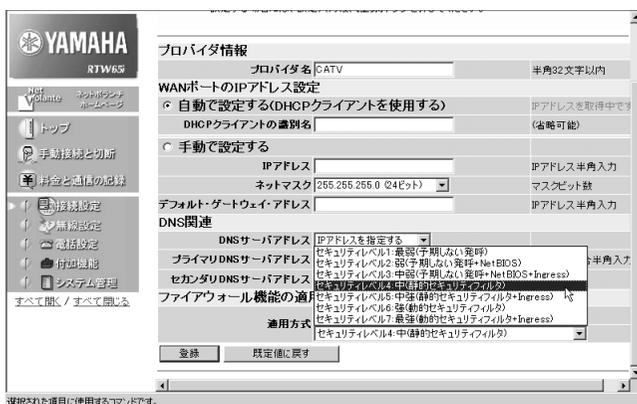
NetVolanteのホームページが表示されれば、ルータの設定は完了です。

表示されない場合は

DNSサーバアドレスの設定が間違っている可能性があります。

[登録の修正]をクリックして、設定内容をもう1度確認してください。

また、本機のファイアウォール機能によって接続が制限されている場合もありますので、[登録の修正]をクリックして、「ファイアウォール機能の適用」欄でセキュリティレベルを変更してください。



選択された項目に使用するコマンドです。

フレッツ・ADSL接続用に設定する

フレッツ・ADSLなど、PPPoE方式でインターネットに接続する場合は、本機の「かんたん設定ページ」画面で、フレッツ・ADSLの接続先を設定します。

ご注意

- プロバイダ契約を解除または変更した時は、必ず本機の接続設定と、パソコンのダイヤルアップネットワーク設定(TA接続利用時)の両方を削除または再設定してください。削除しないまま使用していると、回線業者やプロバイダから意図しない料金を請求される場合があります。
- インターネットへ常時接続する場合は、インターネット側から不正なアクセスや攻撃を受ける危険性が高くなります。セキュリティには十分ご注意の上、お使いください。詳しくは別冊の「活用マニュアル」の「第8章 ファイアウォール機能を使う」(112ページ)をご覧ください。

ここではWindows MeとInternet Explorer 5.5の画面を例に説明します。他の環境の場合は画面表示が多少異なりますが、操作は同じです。RTW65iパソコンセットアップで引き続き設定する場合は、手順4から始めてください。

1 本機の電源が入っていることを確認する。

2 パソコンでWebブラウザを起動して、[ファイル]メニューから[開く]を選ぶ。

3 「http://setup.netvolante.jp/」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。

本機のIPアドレス(工場出荷時は192.168.0.1)を半角英数字で入力して開くこともできます。

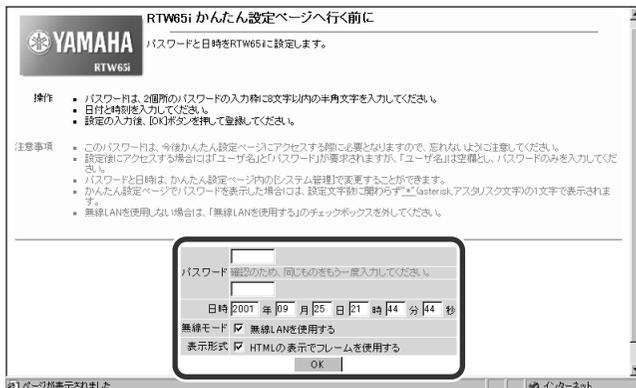


初めて開いたときは、「RTW65iかんたん設定ページへ行く前に」画面が表示されます。2度目以降は、手順5へ進んでください。

ヒント

「RTW65iかんたん設定ページへ行く前に」画面が表示されないときは、ルータとパソコンの接続や、パソコンの設定を確認してください。

- 4 ルータの管理パスワードを2つの入力欄に入力し、日時を指定してから[OK]をクリックして、確認のメッセージに従って操作する。**
 管理パスワードは半角英数字8文字までで、好みに合わせて決めてください(例:rtw65i00、yamaha65など)。



ご注意

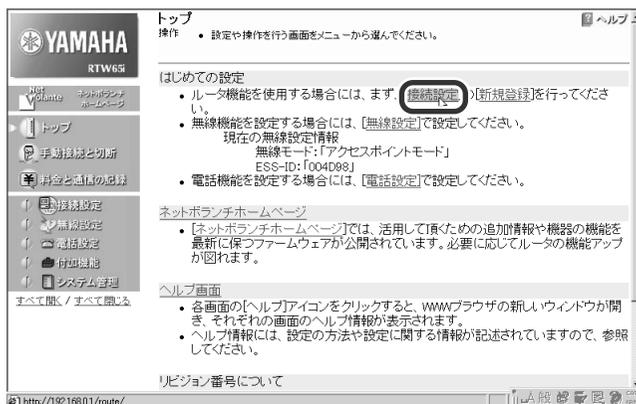
- ルータの管理パスワードは、本機の設定を変えるときや情報を見るときに必要になります。プロバイダのパスワードとは別に、大切に管理してください。
- 無線LANを使用しないときは、不正アクセスを防ぐために[無線LANを使用する]のチェックを外してください。

- 5 [パスワード]欄にルータの管理パスワードを入力してから、[OK]をクリックする。**

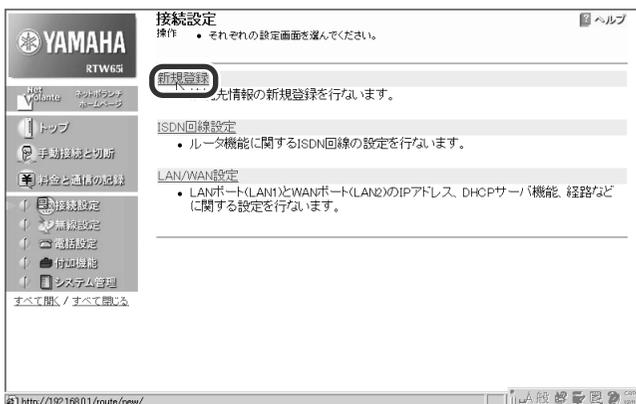


「トップ」画面が表示されます。

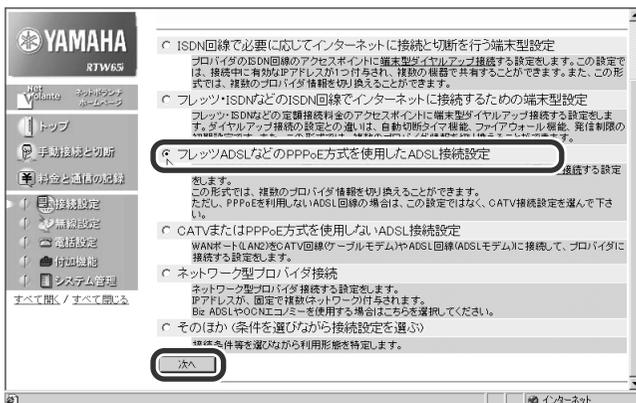
- 6 [接続設定]をクリックする。**



7 [新規登録]をクリックする。

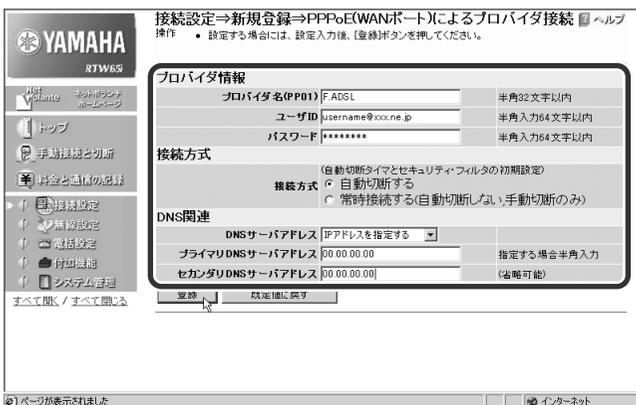


8 [フレッツ・ADSLなどのPPPoEを使用したADSL接続設定]を選 んだから、[次へ]をクリックする。



設定入力画面が表示されます。

9 プロバイダの設定情報書類を見ながら、プロバイダ名と各設定項目 を入力する。



プロバイダ名	接続先がわかるような名前を入力します。
ユーザID	プロバイダから指定されたフレッツ・ADSL接続用のユーザIDを入力します。必ず書類を確認して、間違いのないように入力してください。 例) username@provider.ne.jp username@aaa.provider.ne.jp (サブドメインが付加される場合)
パスワード	指定されたパスワードまたは自分で変更したパスワードを入力します。半角英数字で大文字小文字も正確に入力してください。
接続方式	フレッツ・ADSLの使いかたを選びます。 <ul style="list-style-type: none">• 自動切断する: 必要に応じて接続したい場合を選びます。• 常時接続する: 常に接続したままにしたい場合を選びます。
DNSサーバアドレス	DNSサーバアドレスの取得方法を選びます。 <ul style="list-style-type: none">• IPアドレスを指定する: プロバイダからDNSサーバアドレスが指定されている場合を選びます。• 接続時に自動取得する: プロバイダからDNSサーバアドレスが指定されていない場合や、自動取得となっている場合を選びます。
プライマリDNSサーバアドレス	DNSサーバアドレスが指定されている場合に入力します。
セカンダリDNSサーバアドレス	DNSサーバアドレスが2つ指定されている場合に入力します(省略できます)。

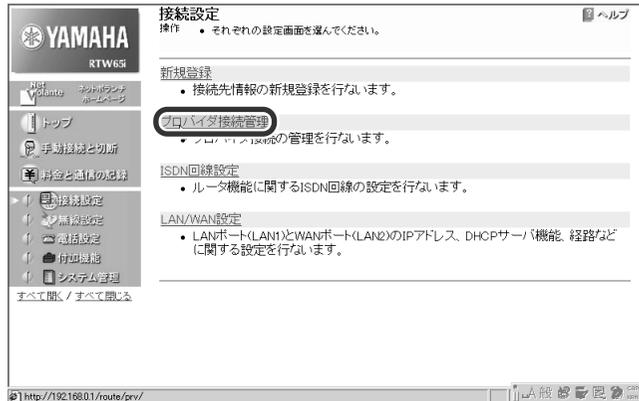
10 入力が終わったら、[登録]をクリックする。

メッセージに従ってボタンをクリックすると、接続先が登録されます。

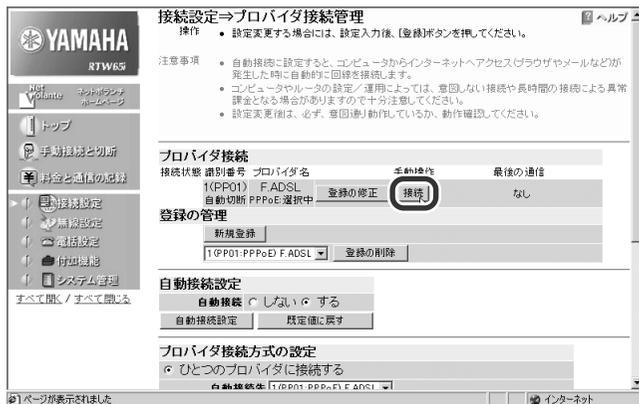
ヒント

設定したパスワードの文字数を隠すため、ページを再表示したときは、パスワード欄が「*」一つだけの表示となります。

11 [プロバイダ接続管理]をクリックする。



12 登録したプロバイダの[接続]をクリックして、手動接続してみる。



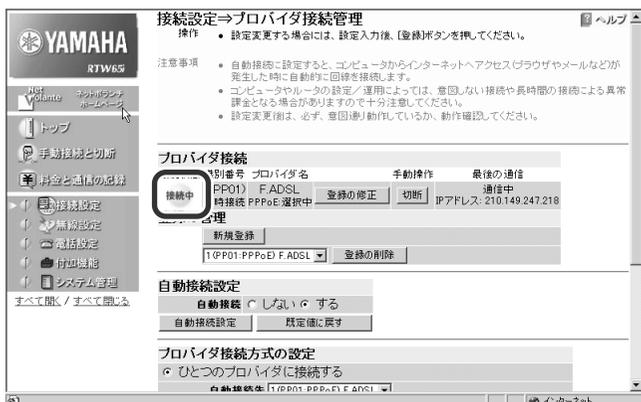
本機のWAN LINKランプが点灯して左側に「接続中」が表示されたら、正しく設定されています。

接続できない場合は

ユーザIDやパスワードの設定が間違っている可能性があります。

[登録の修正]をクリックして、プロバイダの設定情報書類を見直しながら設定内容を確認したり、パスワードの大文字／小文字や全角／半角に注意して入力し直してから、もう1度手動接続を行ってください。

13 ページ左上の[ネットボランチホームページ]をクリックする。



NetVolanteのホームページが表示されます。

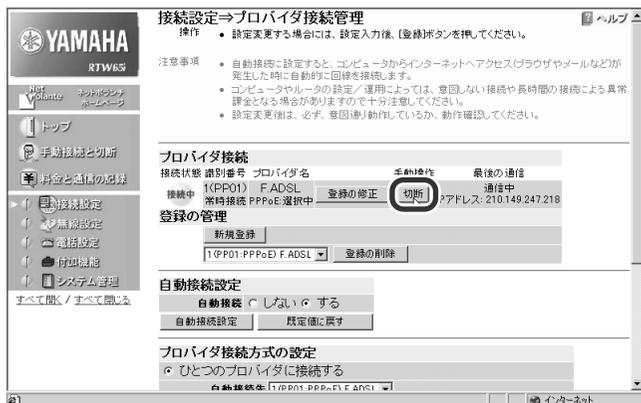
表示されない場合は

DNSサーバアドレスの設定が間違っている可能性があります。

[切断]をクリックしていったん接続を切断してから、[登録の修正]をクリックして、設定内容をもう1度確認してください。

14 接続できることを確認できたら、Webブラウザの[戻る]をクリックして「プロバイダ接続管理」画面に戻る。

接続方式で[自動切断する]を選んでいる場合は、登録したプロバイダの[切断]をクリックして手動切断してください。



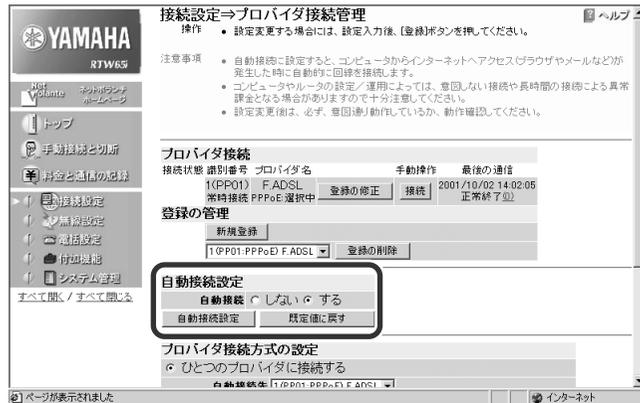
接続方法で[自動切断する]を設定した場合は

手動切断しなくても、一定時間インターネットへアクセスしないと、自動的にプロバイダとの接続が切れます。

ヒント

フレッツ・ADSLは定額料金制なので、発信制限は自動設定されません。

15 [自動接続設定]が[する]になっていて、[自動接続先]に登録したプロバイダが選ばれていることを確認する。



これで、ルータのフレッツ・ADSL接続設定は完了です。

インターネット接続を開始する

本機はインターネットへ自動的に接続します

本機はLAN内の情報を監視し、インターネットへのアクセスが必要になると、自動的にインターネットへ接続します。通常は、パソコンでホームページを閲覧したり、新着メールを確認するだけで、自動的に接続/切断できます。本機のボタンや付属のソフトウェアで、手動で接続/切断することもできます。

ヒント

自動的に接続したくないときは、「かんたん設定ページ」の[プロバイダ接続管理]画面で変更できます。ボタンによる接続/切断をする場合は、あらかじめ「CONN/DISCボタンによる接続/切断設定」で変更する必要があります。初期設定では、ボタンによる接続は[しない]、ボタンによる切断は[する]に設定されています。

ご注意

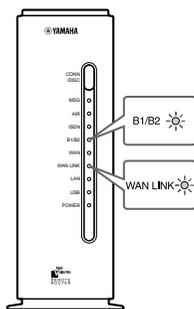
- お使いのソフトウェアの設定によっては、定期的にインターネットに接続されて、電話料金が異常に多くなることがあります。ときどき接続記録を見て、意図しない接続がないか、確認してください(111ページ)。
- ソフトウェアによっては、意識的に起動しなくてもパソコンを起動しているだけで自動的に動作しているものがあります。知らないうちに自動発信を繰り返している場合があるので、十分ご注意ください。詳しくは、別冊の「活用マニュアル」の「通信料金に異常がある」(187ページ)をご覧ください。

自動で接続する

自動接続の場合は、接続のための操作は必要ありません。WebブラウザでURLを入力したり、電子メールソフトウェアで送信や受信の操作を行うだけで、自動的にインターネットへ接続します。

WebブラウザでURLを入力してから、Enterキーを押す。

自動的にインターネットへ接続され、ホームページが表示されます。インターネットへ接続されているときは、B1/B2ランプ(ISDN接続時)、またはWAN LINK(PPPoE接続時)が点灯または点滅します。



PPPoE以外またはCATVで接続している場合は、WAN LINKランプは常に点灯/点滅します。

ボタンで接続する(ISDN回線使用時のみ)

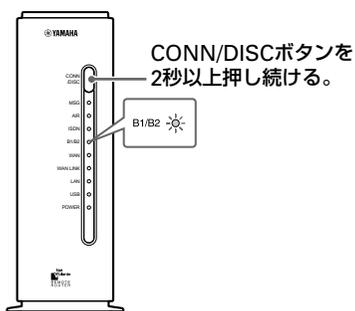
「かんたん設定ページ」の「接続設定」ページで[CONN/DISCボタンによる手動接続]の設定を[する]にしてある場合は、本機のボタンを押して手動で接続できます。この機能を使うときは、先に「かんたん設定ページ」で設定を行ってください。

ご注意

- 本機の初期設定は、[CONN/DISCボタンによる手動接続]が[しない]になっています。また、接続先は「かんたん設定ページ」で指定したプロバイダになります。
- CONN/DISCボタンを押しても、以下の場合は接続できません。
 - CATV/ADSL回線でインターネットに接続している場合
 - 本機をTAとして使用している場合
- CONN/DISCボタンを押しても、アナログポートの接続はできません。

CONN/DISCボタンを2秒以上押し続ける。

B1/B2ランプが点灯または点滅して、インターネットへ接続します。



インターネット接続を終了する

本機はインターネットへの接続を自動的に切断します

ルータはLAN内から一定時間インターネットへのアクセスがないと、次の通話課金単位時間(ISDN回線でのダイヤルアップ接続の場合、初期設定では3分毎)で自動切断します。切断条件の設定は、「かんたん設定ページ」で変更できます。本機のボタンや付属のソフトウェアで、手動で切断することもできます。

自動で切断する

自動切断が設定されている場合は、切断のための操作は必要ありません。Webブラウザによるアクセスや、電子メールソフトウェアの送受信操作を一定時間行わないと、自動的に切断されます。

インターネットへのアクセスをやめる。

次の通話課金単位時間(初期設定では3分毎)で自動切断されます。切断されると、B1/B2ランプ(ISDN接続時)、またはWAN LINK(PPPoE接続時)が消灯します。

なお、フレッツ・ISDNで接続している場合は自動切断しません。

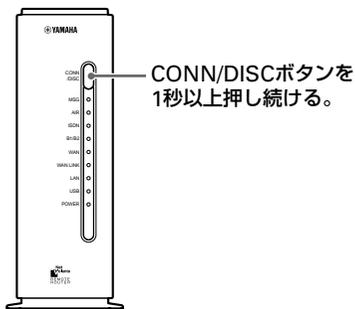
ボタンで切断する(ISDN回線使用時のみ)

ご注意

- CONN/DISCボタンを押しても、以下の場合は切断できません。
 - CATV/ADSL回線でインターネットに接続している場合
 - 本機をTAとして使用している場合
- CONN/DISCボタンを押しても、アナログポートの切断はできません。

CONN/DISCボタンを1秒以上押し続ける。

インターネット接続が切断され、点灯または点滅していたB1/B2ランプが消灯します。



ヒント

本機の初期設定は、[CONN/DISCボタンによる切断]が[する]になっています。ボタン切断の設定は「かんたん設定ページ」の「プロバイダ接続管理」画面で変更できます。

RTAssistを活用する

付属のソフトウェア「RTAssist」を使って、LAN上のパソコンから手動で接続／切断したり、接続状態や通信記録、料金情報を確認したりすることができます。RTAssistの機能について詳しくは、添付のReadmeファイルや、「お読みください」をご覧ください。

RTAssistを使用する前に

46～49ページの手順にしたがって、RTAssistをパソコンにインストールしてください。

ご注意

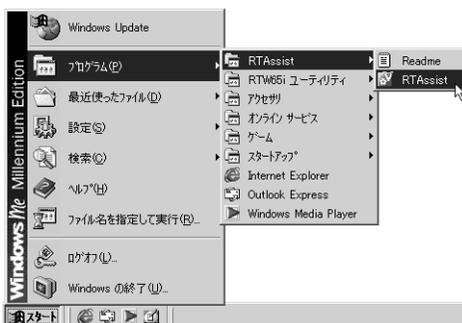
- 本機を「かんたん設定ページ」(コマンド入力を除く)で設定した場合のみ、本機をRTAssistで操作できます。
- RTAssistはtelnetにより制御を行います。RTAssist起動中は、他のtelnetソフトウェアで本機にアクセスすることはできません。同様に、telnetソフトウェアで本機にアクセスしている間は、RTAssistは使用できません。
- RTAssist起動中は、「かんたん設定ページ」やコマンド、その他の方法による本機の設定変更は行わないでください。
- USB接続でRTAssistを使用する場合は、あらかじめ擬似LAN接続で本機に接続しておく必要があります。擬似LAN接続について詳しくは、別冊の「活用マニュアル」の「第6章 USB接続機能を活用する」(66ページ)をご覧ください。
- お使いのパソコンの仕様やソフトウェアの状態によっては、RTAssistが正しく動作しないことがあります。その場合は「かんたん設定ページ」の「接続設定」-「プロバイダ接続管理」画面で切断してください。

RTAssistを起動する／終了する

1 RTAssistを起動する。

Windowsの場合

[スタート]メニューをクリックして、[プログラム] - [RTAssist] - [RTAssist]をクリックする。

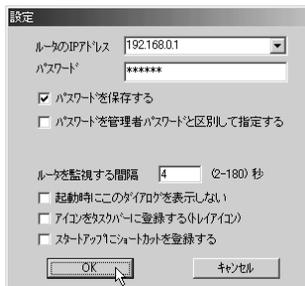


Mac OSの場合

[RTAssist]アイコンをダブルクリックする。



2 [ルータのIPアドレス]と[パスワード]を入力してから、[OK]をクリックする。



「RTAssist」画面が表示されます。



ヒント

- Windowsの場合、[起動時にこのダイアログを表示しない]、[アイコンをタスクバーに登録する]、[スタートアップにショートカットを登録する]の3項目にすべてチェックを付けると、パソコンの起動と同時にRTAssistが自動的に起動します。この場合、RTAssistはタスクトレイのアイコンをダブルクリックするだけで起動できます。
- すでにRTAssistが起動されているときは、タスクバーのアイコンをダブルクリックするか、または右ボタンをクリックして表示されたメニューから[開く]を選んで、RTAssist画面を表示できます。

RTAssistを閉じる

[終了]または[閉じる]をクリックする。

ヒント

Windows環境でお使いの場合は、[閉じる]をクリックすると、RTAssistは常駐したままでタスクトレイに残ります。完全に終了するためには、タスクトレイのアイコンを右クリックして、表示されたショートメニューから[終了]を選びます。



手動で接続する／切断する

登録したプロバイダに手動で接続するときは、次の手順で操作します。

- 1 RTAssistを起動する。
- 2 接続したいプロバイダを選んでから、[接続]をクリックする。



プロバイダに接続すると、プロバイダ名やアクセスポイントの番号、接続時間が表示されます。



ヒント

プロバイダに接続していない状態で[ルータ情報]をクリックして表示される「ルータ情報」画面で、[自動接続する]のチェックをはずすと、ルータの自動接続動作を禁止できます。

手動で切断する

インターネットへの接続を切断したいときは、次の手順で操作します。

- RTAssistを起動して、[切断]をクリックする。



切断すると、プロバイダの表示が消えます。

接続状態／料金情報を確認する

接続状態を確認する

RTAssistを起動する。

インターネット接続状態が表示されます。



料金情報を確認する(ISDN回線使用時のみ)

接続先ごとや各ポートごとの累積料金を確認できます。

RTAssistを起動してから、[料金情報]をクリックする。



各接続先ごとや各ポートごとの累積料金が表示されます。

通信種別	累積料金	最終通信料金
PP[01] Provider	36円	9円
アナログ 1	18円	0円
アナログ 2	0円	0円

ヒント

通信料金は、NTTから通知される料金を累積して表示しています。

NTTから通知される料金は少数点以下が切り上げられたり、各種割引サービスやNTT以外の回線業者の料金が反映されないことなどにより、実際に請求される料金と異なる場合があります。あくまで目安と考えてください。

本機の設定や通信記録を保存する

本機の設定や通信記録を、パソコンのテキストファイルとして保存できます。

ご注意

- 保存したファイルには、ユーザIDやパスワードなどの重要な情報が含まれています。取り扱いには十分ご注意ください。
- トラブル発生時には、原因調査のためにこれらの情報を保存しておくことをおすすめします。

1 RTAssistを起動してから、[ルータ情報]をクリックする。



「ルータ情報」画面が表示され、本機のファームウェアのバージョン番号や、MACアドレスが表示されます。

2 [転送形態]から[ルータの設定(Config)をファイルに保存する]または[通信記録(syslog)をファイルに保存する]を選ぶ。



3 [参照]をクリックする。

4 保存先とファイル名を指定してから、[保存]をクリックする。

5 [実行]をクリックする。

手順2で選んだ内容が、パソコンにテキストファイルとして保存されます。

保存したファイルの内容は、メモ帳 (Windows) や SimpleText (MacOS) などを確認できます。

6 [OK]をクリックして、「ルータ情報」画面を閉じる。

本機の動作状態を確認する

本機の動作状態は、ランプやユーティリティソフトウェア、かんたん設定ページで確認できます。

ランプで確認する

本機前面のランプは、次の状態を示します。

● :点灯、◐ :点滅、◑ :ゆっくり点滅、○ :消灯

MSG	◐	プロバイダのメールサーバにメールが到着しています (かんたん設定ページで、メールサーバを登録する必要があります)。
AIR	●	無線LANが正常な状態です。
	◐	無線LANにデータが流れています。
	○	無線LANが使用できない状態です。
ISDN	●	ISDN回線／専用線が正常な状態です。
	○	ISDN回線／専用線が使用できない状態です。
B1/B2	●	B1/B2チャンネルを使用しています。
	◐	B1/B2チャンネルにデータが流れています。
	○	B1/B2チャンネルが空いています。
WAN	●	WANが使用可能な状態です。
	◐	WANポートにデータが流れています。
	○	WANが使用不可能な状態です。
WAN LINK	●	WANポートでインターネットに接続しています。
	○	WANポートでインターネットに接続していません。
LAN	●	LANが使用可能な状態です。
	◐	LANにデータが流れています。
	○	LANが使用不可能な状態です。
USB	●	USBが使用可能な状態です。
	◐	USBにデータが流れています。
	◑	USBデバイスとして正しく認識されていない状態、またはサスペンド状態です。
	○	パソコンやUSBハブの電源が切れているか、USBケーブルが抜けています。
POWER	●	電源が入っています。
	◐	停電状態でバックアップ電池による動作中です。
	◑	停電状態でバックアップ電池による動作中であり、電池残量が少ない状態です。新しい電池に交換してください。
	○	電源が切れているか、または停電しています。

「かんたん設定ページ」で確認する

「かんたん設定ページ」で、より詳しい状態や通信記録を確認できます。ここでは、Windows MeでInternet Explorer 5.5を使った例で説明します。

「かんたん設定ページ」を開く

1 パソコンでWebブラウザを起動して、[ファイル]メニューから[開く]を選ぶ。

2 「http://setup.netvolante.jp/」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。

本機のIPアドレス(工場出荷時は192.168.0.1)を半角英数字で入力して開くこともできます。

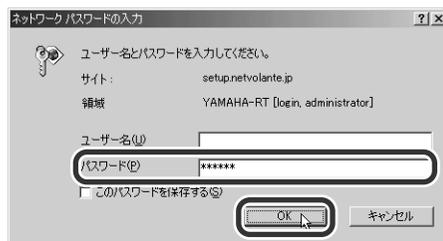


「ネットワーク パスワードの入力」画面が表示されます。

※ヒント

Windows 95/98/Me/2000でユーティリティソフトをインストール済みの場合は、[スタート]ボタンをクリックして、[プログラム]－[RTW65iユーティリティ]－[RTW65iかんたん設定ページ]をクリックして、「かんたん設定ページ」を表示できます。

3 ルータの管理パスワードまたはログインパスワードを入力してから、[OK]をクリックする。



「トップ」画面が表示されます。

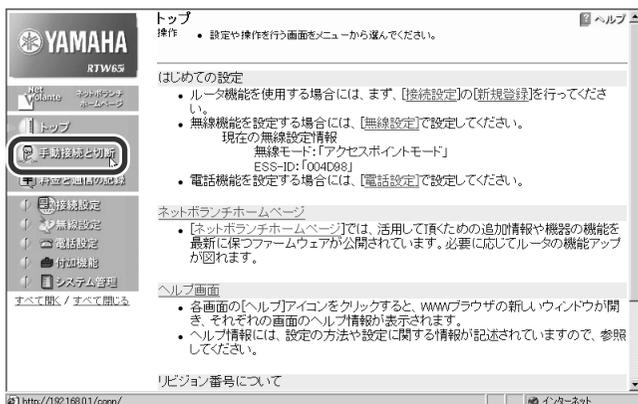
※ヒント

接続時のエラーメッセージや発信制限の警告メッセージがある場合は、「トップ」画面に表示されます。

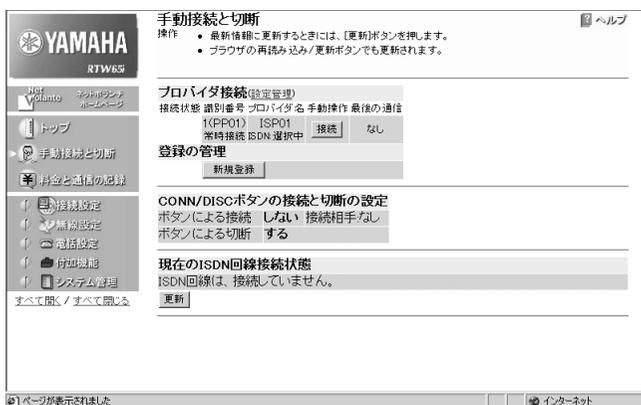
→本機の動作状態を確認する

インターネット接続状態を見る

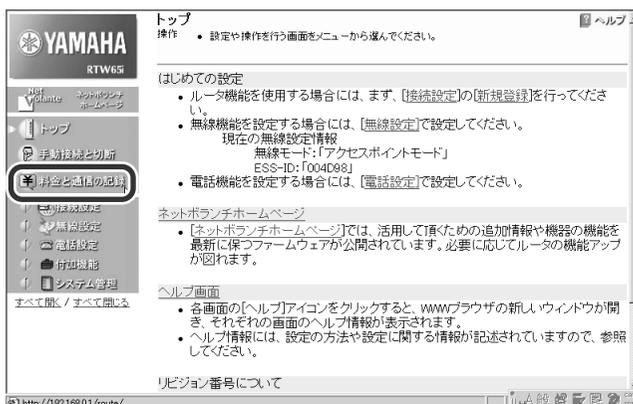
[手動接続と切断]をクリックする。



「手動接続と切断」画面には、現在の接続状態が表示されています。登録した接続先ごとに、手動接続／切断できます。



[料金と通信の記録]をクリックする。



「料金と通信の記録」画面には、各ポート毎の料金や通話時間、通話毎の記録、着信転送件数、メールの着信件数、転送件数が表示されます。



ご注意

通信料金はISDN回線で接続している場合にのみ表示されます。

ヒント

- 通信料金はNTTから通知される料金を累積して表示しています。
NTTから通知される料金は少数点以下が切り上げられたり、各種割引サービスやNTT以外の回線業者の料金が反映されないことなどにより、実際に請求される料金と異なる場合があります。あくまで目安と考えてください。
- プロバイダ接続やLAN間接続の累積情報が発信制限に達している場合は、赤字で表示されます。その場合は、発信制限の値を変更したり、料金をクリアすることで発信できるようになります。

ブザーを鳴らす条件を設定する

本機にはブザーが内蔵されており、工場出荷状態ではインターネットへ接続するときと切断するときにはブザーが鳴るように設定されています。ブザー音は、「かんたん設定ページ」の「システム管理」画面で止めたり、鳴らしたりすることができます。

ご注意

電池駆動時は、ブザーは鳴りません。

- 1 パソコンでWebブラウザを起動して、[ファイル]メニューから[開く]を選ぶ。

- 2 「http://setup.netvolante.jp/」と半角英字で入力してから、[OK]をクリックする。

本機のIPアドレス(工場出荷時は192.168.0.1)を半角英数字で入力して開くこともできます。

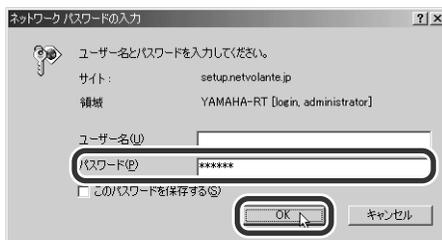


「ネットワーク パスワードの入力」画面が表示されます。

ヒント

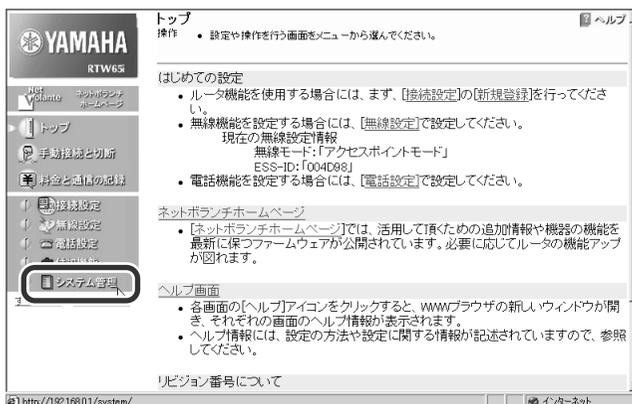
Windows 95/98/Me/2000でユーティリティソフトをインストール済みの場合は、[スタート]ボタンをクリックして、[プログラム]－[RTW65iユーティリティ]－[RTW65iかんたん設定ページ]をクリックして、「かんたん設定ページ」を表示できます。

- 3 ルータの管理パスワードまたはログインパスワードを入力してから、[OK]をクリックする。

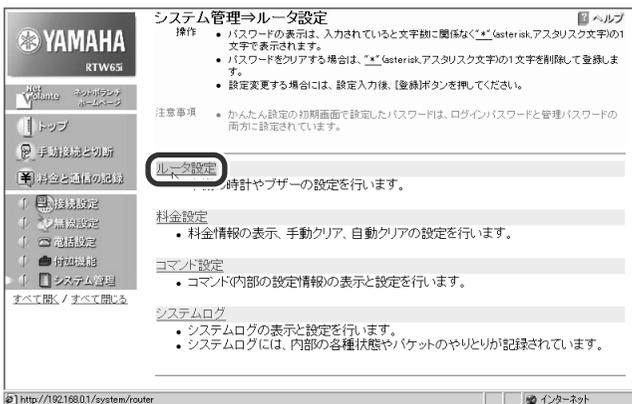


「トップ」画面が表示されます。

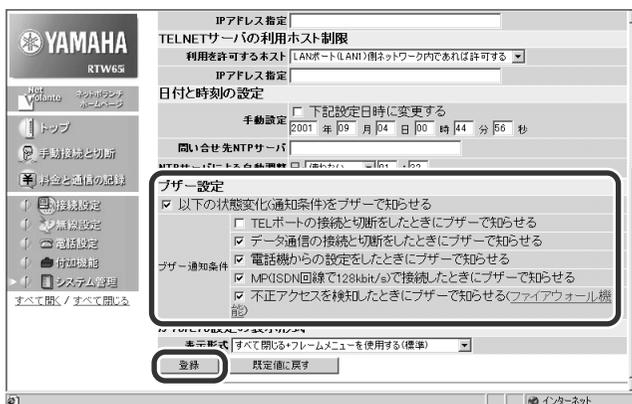
4 [システム管理]をクリックする。



5 [ルータ設定]をクリックする。



6 ブザー設定でブザー音の動作を設定してから、[登録]をクリックする。



設定できる条件については、次ページの表をご覧ください。

以下の状態変化(通知条件)をブザーで知らせる

止めたいときはチェックを外します。ブザーを鳴らしたいときはチェックを付けて、鳴らす条件を選びます。

-
- **TELポートの接続と切断をしたときにブザーで知らせる**:TELポートに接続した電話機やFAXで発信／着信／切断するたびに、ブザーが鳴ります。
-
- **データ通信の接続と切断をしたときにブザーで知らせる**:ルータ機能やTA機能で発信や切断するたびに、ブザーが鳴ります。
-
- **電話からの設定時にブザーで知らせる**:TELポートに接続した電話機で設定操作を行うと、ブザーが鳴ります。
-
- **MP(ISDN回線で128kbit/s)で接続したときにブザーで知らせる**:128Kbit/sMP接続で設定したプロバイダに発信するたびに、ブザーが鳴ります。
-
- **不正アクセスを検知したときにブザーで知らせる(ファイアウォール機能)**:本機のファイアウォール機能を設定してある場合、不正アクセスを検知した時にブザーが鳴ります。
-

困ったときは

本機を使用中に問題が発生した場合は

別冊の「活用マニュアル」の「第10章 困ったときは」(176ページ)をご覧ください。

以下の問題を解決する方法が記載されています。

- 電話が使えない(ISDN接続時)
- 無線LANが繋がらない
- かんたん設定ページで設定できない
- インターネットに接続できない
- TA機能で接続できない
- 通信料金に異常がある
- パスワードを忘れてしまったときは

本機の最新情報を入手するには

本機に関する最新情報は、インターネットのホームページで入手できます。設定に関する初歩的な情報からルータの専門的な情報まで、それぞれの目的別に用意していますので、十分ご活用ください。

- **NetVolanteシリーズのホームページ**:本機やNetVolanteシリーズに関する最新情報をご覧ください。

<http://NetVolante.jp/>

- **NetVolanteシリーズでお問い合わせの多い質問(FAQ)**:本機やNetVolanteシリーズに関するQ&Aをご覧ください。

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RTW65i/FAQ/>

- **NetVolanteシリーズのリビジョンアップ情報**:本機やNetVolanteシリーズの最新ファームウェアに関する情報をご覧ください。

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/RTW65i/RevUpper.html>

- **RTシリーズのホームページ**:RTシリーズのルータに関する最新情報やルータの技術情報、高度な利用方法などをご覧ください。

<http://www.rtpro.yamaha.co.jp/>

ご質問／お問い合わせは

本機に関する技術的なご質問やお問い合わせは、下記へご連絡ください。

RTW65i専用サービス窓口(ネットボランチコールセンター)

TEL: 03-5715-0350

(土日祝日を除く9時～12時、13時～17時)

電子メールでのお問い合わせ

- Webお問い合わせページ

<http://NetVolante.jp/>

- メールアドレス

support@netvolante.jp

ヤマハ株式会社

●ネットボランチコールセンター

RTW65i専用サービス窓口

TEL: 03-5715-0350

土日祝日を除く9時～12時、13時～17時

●電子メールでのお問い合わせ

Webお問い合わせページ: <http://NetVolante.jp/>

メールアドレス: support@netvolante.jp